

# 平成29年度 業務実績報告書

平成30年6月

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

I 法人の概要

1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター
- (2) 所在地 岐阜県岐阜市野一色4-6-1
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日

(4) 役員状況(平成29年4月1日現在)

	氏名	役職
理事長	滝谷 博志	センター院長
副理事長	水野 雅臣	センター副院長兼事務局長
理事	山田 新尚	センター医監
理事	直原 修一	センター副院長
理事	國枝 克行	センター副院長
理事	田垣 春美	センター副院長兼看護部長
理事	森 秀樹	国立大学法人岐阜大学前学長
理事	石井 直子	学校法人岐阜学園理事長
監事	小森 正悟	弁護士(小森正悟法律事務所)
監事	山田 英貴	公認会計士・税理士(山田会計事務所)

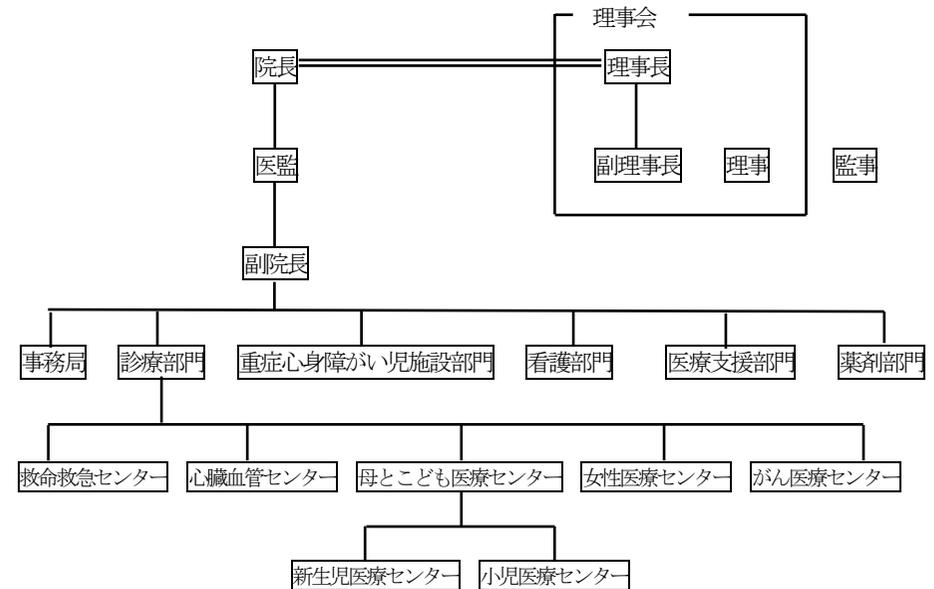
(5) 職員数(平成29年4月1日現在)

単位：人

職種	常勤	非常勤	合計
医師	176	44	220
看護師等	638	72	710
コメディカル	203	15	218
事務等	80	208	288
合計	1,097	339	1,436

(6) 組織図

平成29年4月1日現在



## 2 法人の基本的な目標

### (1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター（以下「法人」という。）は、平成22年度設立以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

設立から平成26年度までの第1期中期目標期間中においては、理事長の強いリーダーシップの下、職員一丸となって診療機能の充実・強化及び経営改善を図り、目標としてきた質の高い医療サービスの効果的な提供に努め、内視鏡支援ロボット（ダ・ヴィンチ）の導入、小児集中治療室（PICU）の開設、経常収支比率100%の3年目からの達成など着実な成果をあげた。

一方、医療を取り巻く環境は、社会保障・税一体改革大綱（平成24年2月17日閣議決定）において、急性期をはじめとする医療機能の強化、病院・病床機能の役割分担・連携の推進、在宅医療の充実などに取り組み、団塊世代が75歳以上となる平成37年に向けて医療提供体制の再構築や地域包括ケアシステムの構築を図ることとされている。

このため、第2期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第1期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、二次医療圏はもとより、三次医療圏の中核的な病院として、県下全体を視野に入れて、県民が必要とする安全・安心・良質な医療を提供するとともに、県全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

### (2) その他法人の特徴として記載すべき事項

岐阜県総合医療センターの理念は、「県民に信頼され、患者本位の安全で良質な全人的医療の提供」で、①岐阜県の基幹病院としての急性期を中心とした医療を担当する。②科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に務める。③必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保する。④地域の医療機関や福祉施設との連携を重視する。⑤迅速かつ確実な医療とするとともに、効率的な病院経営に努める⑥医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与することなどを基本方針としている。

## 3 設置する病院の概要

- (1) 病院名称 岐阜県総合医療センター
- (2) 所在地 岐阜県岐阜市野一色4-6-1
- (3) 沿革

年	月	概要
昭和28年	7月	岐阜県立岐阜病院として開院 (病床数130床)
昭和29年	10月	総合病院の承認を受ける (病床数259床)
昭和43年	2月	救急告示病院に指定
昭和45年	6月	特殊放射線棟新築
昭和47年	8月	東病棟新築 (病床数370床)
昭和49年	3月	厚生省臨床研修病院に指定
昭和58年	9月	西病棟新築 (病床数500床)
昭和58年	11月	救命救急センター開設
昭和63年	3月	中央診療・新生児センター棟新築 (病床数522床)
平成4年	2月	特殊放射線棟増築
平成4年	7月	病院医療総合情報システム導入
平成8年	8月	新生児センター3床増床 (病床数525床)
平成8年	12月	基幹災害拠点病院に指定
平成9年	4月	院外処方箋実施
平成9年	7月	結核病床を廃止し、一般病床に変更 (病床数530床)
平成11年	8月	クリニカルパス導入
平成11年	11月	25床増床 (病床数555床)
平成13年	6月	病診連携室（平成14年4月より病診連携部へ改組）設置
		開放型病床（12床）開設 (平成14年1月より27床)
平成14年	3月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定証取得
平成14年	4月	女性専用外来開設
平成14年	10月	医療安全部開設
平成16年	4月	新医師臨床研修病院に指定
平成17年	1月	地域がん診療連携拠点病院に指定
平成18年	11月	本館新築。岐阜県総合医療センターへ名称変更 (病床数590床)
		岐阜県立病院医療総合情報システム（電子カルテ）導入
平成19年	8月	岐阜DMAT指定病院に指定（DMAT：災害派遣医療チームの略）
平成19年	9月	7対1看護体制を取得

平成 20 年	2 月	総合周産期母子医療センターに指定
平成 20 年	9 月	地域医療支援病院に指定
平成 21 年	4 月	DPC (入院包括診療報酬制度) 対象病院に指定
平成 22 年	1 月	情報交流棟・管理棟改修工事完成
平成 22 年	4 月	地方独立行政法人岐阜県総合医療センターへ移行
平成 23 年	4 月	患者駐車場 500 台の整備
平成 24 年	3 月	DPC 医療機関群 II 群の適用
平成 24 年	4 月	へき地医療拠点病院の指定
平成 25 年	4 月	PICU (小児集中治療室) 2 床稼働
平成 25 年	7 月	ハイブリッド手術室新設
平成 26 年	10 月	PICU (小児集中治療室) 4 床稼働
平成 27 年	7 月	PICU (小児集中治療室) 6 床稼働
平成 28 年	2 月	重症心身障がい児病棟(小児医療センター)完成 (病床数 604 床)
平成 28 年	3 月	重症心身障がい児施設「すこやか」運営開始
平成 28 年	10 月	新生児医療センター改修工事完成
平成 29 年	4 月	日本小児総合医療施設協議会に入会
平成 29 年	10 月	救命救急センター改修工事完成(S-ICU:0 床→8 床、救命救急:26 床→22 床、ICU:4 床→0 床)

(4) その他

理念	県民の皆様方に信頼され、患者さん本位の安全で良質な全人的医療を提供します。
主な役割及び機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度で先進的な急性期医療センター機能</li> <li>救命救急センターを設置する第三次救急医療施設</li> <li>災害時に県下を対象に指定された基幹災害拠点病院及び DMAT 指定病院</li> <li>エイズ治療拠点病院</li> <li>地域がん診療連携拠点病院</li> <li>地域医療支援病院</li> <li>へき地医療拠点病院</li> <li>小児救急医療拠点病院</li> <li>臨床研修指定病院</li> </ul>
重点医療	<p>5つの重点医療と7つのセンターによる高度先進医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救命救急医療 (救命救急センター)</li> <li>心臓血管疾患医療 (心臓血管センター)</li> <li>周産期医療とこども医療 (母とこども医療センター、小児医療センター、新生児医療センター)</li> <li>がん医療 (がん医療センター)</li> <li>女性医療 (女性医療センター)</li> </ul>
診療科目	総合診療科/内科/糖尿病・内分泌内科/膠原病科/腎臓内科/心療内科/精神科/精神腫瘍科/神経内科/血液内科/呼吸器内科/感染症内科/外科/消化器外科/大腸外科/整形外科/形成外科/脳神経外科/呼吸器外科/内視鏡外科/皮膚科/泌尿器科/眼科/耳鼻いんこう科/頭頸部外科/リハビリテーション科/放射線診断科/放射線治療科/歯科口腔外科/病理診断科/病理診断連携科/麻酔科/小児麻酔科/産科麻酔科/救急科/救急外科/小児救急科/脳卒中内科/脳卒中外科/循環器内科/高血圧科/心臓血管外科/不整脈科/産婦人科/成育医療科/母胎科/新生児内科/小児科/小児脳神経外科/小児循環器内科/小児腎臓内科/小児心臓外科/小児外科/小児療育内科/小児感染症内科/女性科/乳腺外科/疼痛緩和内科/疼痛緩和外科/消化器内科/肝臓内科/胆膵内科/成人先天性心疾患診療科/脳血管内治療科/臨床栄養科/臨床検査科 (66 科目) (平成 29 年 4 月 1 日現在)
病床数	一般病床 604 床 (平成 29 年 4 月 1 日現在)
年間延べ患者数	入院 192, 924 人 外来 336, 658 人

## Ⅱ 全体的な状況

### 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

#### 1-1 診療事業

岐阜県総合医療センターは、岐阜地域の基幹病院として近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療を推進するため、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療とこども医療」、「がん医療」、「女性医療」を5つの重点医療として位置づけ、救命救急センターをはじめとする7つのセンターを柱として、地域の基幹病院として急性期医療及び政策医療等を提供している。

高度先進医療機器については、稼働状況・費用対効果を勘案するとともに、医療の先進性と質の向上を図るため、主要医療機器の更新・整備を計画的に進めた。

また、当センターの医療を支える医師・看護師・コメディカル等の優秀な医療スタッフを確保するため、長時間勤務の改善を図るとともに、地方独立行政法人化のメリットを活かした柔軟な雇用制度による職員の採用を行った。

職員の質の向上については、各種職種における資格取得をはじめ、学会や研修・セミナーへの参加を積極的に支援した。

また、院内感染防止対策として、感染制御チーム（ICT）によるラウンドを実施するとともに、感染防止研修会を積極的に開催した。

患者・住民サービスについては、各部門において待ち時間の短縮への取組みを継続したほか、「提案箱」に投函された患者からの意見に対して、迅速な対応を行った。

また、「岐阜県総合医療センター運営協議会」を開催し地域住民の代表者との意見交換を実施するとともに、患者満足度調査を実施し、その結果をホームページで公表した。

診療体制の充実については、従来から患者の需要に的確に対応できる医療を目指しており、「胆膵内科」を設置し、66診療科、34の専門外来により各種症例に的確に対応えられる体制とした。

また、認知症ケアセンターを設置するとともに、中央放射線部の再編の中で、診療支援画像センター及び高次元放射線治療センターを設置した。

近隣医療機関との連携については、その役割分担を明確化し紹介率 75.3%、逆紹介率 99.2%を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核機能を果たした。

#### 1-2 調査研究事業

提供する医療の質及び県内の医療水準の向上等を図るため、治験事業や調査研究事業に積極的に取り組むとともに、岐阜大学の寄附講座への参加を開始した。

また、診療情報の活用として、電子カルテ等診療情報から抽出したDPCデータを使用して8診療科の分析を行った。分析ソフトによる解析やコンサルタントの活用により、当センターの診療内容を他院のベンチマークデータと比較することで、各診療科の医師に改善を促した。

#### 1-3 教育研修事業

質の高い医療従事者の養成として、新しい医療技術の修得・研究のため、国内外に医師を派遣した。医師の卒後臨床研修等の充実については、岐阜大学病院との連携を密にしながら当院独自の研修プログラムをデザイン、充実した研修を推進したことで、初期臨床研修医 31人、後期研修医（レジデント）46人を確保することができた。

また、専門医機構から、内科、小児科、整形外科が新専門医制度における基幹病院として認定された。医学生、看護学生、コメディカルの学生の他、救命救急士等の実習受入についても積極的にに行った。

#### 1-4 地域支援事業

地域医療への支援では、高度先進医療機器の共同利用や共同診療を推進した。

また、医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援として、県立下呂温泉病院、高山赤十字病院、郡上市民病院等に対する人的支援を継続したほか、県からへき地医療支援機構の運営を受託した。

講師派遣など、社会的な要請に対しても、随時協力を行い、法人が有する人材や知見を提供した。

また、保健医療情報の提供・発信については、県民を対象とした健康祭の開催、マスメディアやインターネットを通じた情報提供、広報誌「けんこう」や地域医療連携センター部新聞「れんけい」による情報発信を積極的にに行った。

#### 1-5 災害発生時における医療救護

基幹災害拠点病院としてその機能を発揮するため、災害対策訓練や岐阜赤十字病院との情報共有訓練を実施するとともに、被災時において、病院機能の回復を早急に行い、継続的に診療ができるよう診療継続計画の作成を行った。

新型インフルエンザ等対策に関しては、「新型インフルエンザ等対策準備検討委員会」を引き続き設置し、その発生に備えた。

#### 1-6 医療型障害児入所施設の運営

「重症心身障がい児施設 すこやか」において、濃厚な医療的ケアが必要な重症心身障がい児の長期入所の受入及び療育・生活支援を実施するとともに、レスパイトケアのために短期入所の受け入れを実施した。この短期入所定員については、平成29年11月に2人から3人に増員した。

これらをはじめ住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組みについては、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

## 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

### 2-1 効率的な業務運営体制の確立

ITの活用やアウトソーシングを適切に進めることにより経営効率が高い業務執行体制の確保に努めた。

また、医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう、弾力的な診療体制の見直しを進め、平成29年度は、診療科部門において、胆膵内科を設置した。

### 2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善

診療材料におけるベンチマークを活用しての価格交渉や、医療機器保守における交渉等による見直しを通じて、コスト削減を図ることができた。

また、収入の確保について、外来診療額は対前年比99.9%と前年並みとなったものの、入院診療額は対前年比103.6%と増額となった。

未収金への対応については、その発生防止対策として、入院決定患者に対する入院費用や福祉制度の説明・支援などを積極的に実施した。発生した未収金については、適切に把握し督促等を実施するとともに、回収困難な未収金については、弁護士法人に委託する等厳格な対応を行った。

一方、費用の削減については、医薬品や診療材料等の購入方法を見直すとともに、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品の採用等により費用の削減を図った。

## 3 予算、収支計画及び資金計画

### 3-1 決算（平成29年度）

収入については、昨年度に比較して営業収益で約5億円の増額、資本収入で約9億2千万円の減額となり、収入全体で約242億7千万円と約3億9千万円の減額となった。（年度計画に対しては約2億2千万円の増額）

一方、支出については、昨年度に比較して営業費用で約2億4千万円の増額、資本支出で約16億3千万円の増額となり、支出全体で約257億4千万円と約19億1千万円の増額となった。（年度計画に対しては約22億8千万円の増額）

この結果、約14億7千万円の支出超過となった。（年度計画では約5億8千万円の収入超過）

### 3-2 収支計画に対する実績（平成29年度）

収益の部については、昨年度に比較して営業収益で約5億円の増額、営業外収益で約1千万円の減額となり、収益の部全体で約234億1千万円と約6億円の増額となった。（年度計画に対しては約2億9千万円の増額）

一方、費用の部については、昨年度に比較して営業費用で約1億8千万円増額となり、費用の部全体で約233億1千万円と約2億3千万円の増額となった。（年度計画に対しては約5億2千万円の増額）

この結果、約1億円の純利益となった。（年度計画では約3億3千万円の純利益）

### 3-3 資金計画に対する実績（平成29年度）

資金収入については、昨年度に比較して業務活動における収入で約3億4千万円の増額、投資活動による収入で約2億8千万円の減額、財務活動による収入で約9億3千万円の減額となった。

一方、資金支出については、昨年度に比較して業務活動における支出で約4千万円の減額、投資活動による支出で約23億5千万円の増額、財務活動による支出で約11億5千万円の減額となった。

この結果、資金収入全体及び資金支出全体で約403億4千万円と約2億4千万円の減額となり（年度計画に対しては約5億2千万円の増額）、次年度繰越金が約150億2千万円となった。（年度計画では約165億8千万円）

### <目標とする経営指標>

材料費比率（材料費/営業収益）が29.4%、経常収支比率（経常収益/経常費用）が100.1%、医業収支比率（営業収益/営業費用）が104.6%、人件費比率（給与費/営業収益）が48.0%と年度計画の目標をすべて達成することができた。

### ○経営指標比較

単位：%

項目/年度	H27 実績	H28 実績	H29 計画	H29 実績	中期計画
経常収支比率	99.6	98.8	100	100.1	100
医業収支比率 ※1	—	—	100	104.6	100
人件費比率 ※1	48.4	48.9	50	48.0	50
材料費比率 ※1、※2	30.9	31.4	30	29.4	—

※1 重症心身障がい児施設を除く

※2 H29 から高額医薬品を除く

## 4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

業務方法書の変更に伴う規程等の制定・改定について、平成29年度に内部統制の推進に関する基本方針を制定した。

また、医療機器・施設整備について、医療需要や費用対効果などを総合的に判断し必要な医療機器の更新を行うとともに、救命救急センターの改修工事（S-ICU:0床→8床、救命救急:26床→22床、ICU:4床→0床）と南棟の整備に係る基本計画の策定を行った。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項については、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	IV	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	IV	
1-1-3 診療体制の充実	03	IV	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	IV	
1-1-5 重点的に取り組む医療	05	IV	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	III	
1-2-2 診療情報等の活用	07	III	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	IV	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	III	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	IV	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	III	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	III	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	III	
1-5-2 他県等の医療救護への協力	14	III	
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立	15	III	
1-5-4 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	16	III	
1-6 医療型障害時入所施設の運営			
1-6-1 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の整備	17	III	
1-6-2 在宅医療支援体制の充実	18	IV	

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 効果的な組織体制の確立	19	III	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	20	III	
2-1-3 事務部門の専門性の向上	21	III	
2-1-4 コンプライアンスの徹底	22	III	
2-1-5 適切な情報管理	23	III	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	24	IV	
2-2-2 収入の確保	25	IV	
2-2-3 費用の削減	26	IV	
3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画	27	IV	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の就労環境の向上	28	IV	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	29	III	
8-3 医療機器・施設整備に関する事項	30	IV	
8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	31	III	

#### IV 財務情報及び人員に関する情報

指標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
経常収益(千円)	22,276,573	22,803,087	23,289,375		
経常費用(千円)	22,364,719	23,075,752	23,264,341		
経常利益(千円)	▲88,146	▲272,665	25,034		
従事人員数	1,373	1,438	1,436		

#### V 項目別の状況

主な指標 (1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組)								
項目	指標	達成目標(中期目標・中期計画)	(参考) 前中期目標最終年度値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	逆紹介率	70%以上	83.1%	84.2%	94.1%	99.2%		
	在宅復帰率	75%以上	92.7%	93.3%	94.1%	94.5%		
主な指標 (2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組)								
項目	指標	達成目標(中期目標・中期計画)	(参考) 前中期目標最終年度値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	逆紹介率 ※再掲	70%以上	83.1%	84.2%	94.1%	99.2%		
主な指標 (3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画)								
	指標	達成目標(中期目標・中期計画)	(参考) 前中期目標最終年度値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	医業収支比率	100%以上	105.3%	104.2%	103.6%	104.6%		
	職員給与費対医業収益比率	50%以下	47.5%	48.4%	48.9%	48.0%		

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	<p>1-1 診療事業 岐阜地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度・先進医療、急性期医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>※ より質の高い医療の提供          法人が有する医師、看護師、コメディカル等や、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。          特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保や各職種の専門性の向上を図るための教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。          また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの推進、チーム医療体制の充実、メディカカードの導入などITの活用に努めること。          さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、院内感染対策など医療安全対策を徹底すること。</p> <p>※ 患者・住民サービスの向上          来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。          また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。</p> <p>※ 診療体制の充実          医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実に努めること。</p> <p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携          近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリティカルパスの活用など地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて岐阜地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。          また、救急医療コミュニティシステムを利用した医療画像等の患者情報の共有など他の医療機関との連携による医療提供の促進を図ること。          さらに、円滑に在宅医療・療養へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p> <p>※ 重点的に取り組む医療          高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。          特に、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療」、「がん医療」及び「女性と子ども医療」を重点医療として位置付け、さらに充実・強化して高度で先進的な医療を提供すること。          なお、子ども医療については、小児救命救急センターの設置など、拠点としての機能の一層の充実に努めること。</p>
------	--

項目No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由				
01	<p>※ より質の高い医療の提供</p> <p>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた</p>	<p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実に努め、派遣実績が大幅に増加した。</li> </ul> <p>○専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績 H28:803 件 → H29:873 件</p> <p>○医師の研修派遣・受入実績 単位：件</p>	<p>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高額な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案するとともに、人材育成を見据えた視点から先進医療機器を整備し、医療の先進性と質の向上を図った。</li> </ul> <p>○代表的な更新・整備機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名等</th> <th>整備目的・用途等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>血管撮影装置</td> <td>脳神経外科領域、肝臓内科領域において使用</td> </tr> </tbody> </table>	機器名等	整備目的・用途等	血管撮影装置	脳神経外科領域、肝臓内科領域において使用	IV	<p>専門医や研修指導医等の取得に向けた研修や看護師の学会等への参加が増加したことに加え、その他にも継続的な取組ができており、項目全体で特に進捗していると評価。</p>
機器名等	整備目的・用途等								
血管撮影装置	脳神経外科領域、肝臓内科領域において使用								

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況				その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)					自己評価	自己評価理由	
	医師の養成	項目/年度	H27	H28	H29	ガンマカメラ	脳、心臓、甲状腺、悪性腫瘍等の検査で使用						
	4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進	派遣	3	4	2	注射薬自動払出装置	注射オーダーによる1施用ごとの注射薬の払い出しに使用						
	5 コメディカルに対する専門研修の実施	受入	5	6	5	※3千万円以上の高額機器							
	6 EBMの推進	4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 ・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的に認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を確保し、学会等への参加者が大幅に増加した。				○更新・整備を実施した機器の稼働件数 単位：件							
	7 専門性を発揮したチーム医療の推進	○認定看護師等資格取得状況 単位：人				機器名/年度	年度	H27	H28	H29			
	8 メディカカードの導入などのITの活用	認定	項目/年度	H27	H28	H29	内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	H24	131	131	119		
	9 医療安全対策の充実		がん化学療法	2	2	2	X線CT装置	H25	26,476	19,368	19,509		
	10 院内感染防止対策の確立		がん性疼痛	1	1	1	エキシマレーザー血管形成装置	H25	14	24	20		
			感染管理	3	3	3	ハイブリッド手術システム	H25	700	655	607		
			救急看護	2	2	2	手術用顕微鏡	H26	96	146	132		
			小児救急	1	1	1	循環器画像保存システム	H26	2,454	2,571	2,681		
			摂食・嚥下障害	1	1	1	内視鏡ファイリングシステム	H26	8,518	8,454	8,649		
			皮膚・排せケア	3	3	3	全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)(H28.3稼働)	H27	96	812	1,468		
			新生児集中ケア	1	1	1	全身用コンピュータ一断層装置(CT装置)(H28.3稼働)	H27	316	10,315	11,299		
			集中ケア	1	2	3	心臓血管撮影装置(カテ室2)(H28.1稼働)	H27	263	1,109	1,092		
			糖尿病看護	1	1	1	心臓血管撮影装置(カテ室3)(H29.1稼働)	H28	-	201	806		
			がん放射線療法看護	1	1	1	血管撮影装置(H29.10稼働)	H29	-	-	121		
			乳がん看護	1	1	1	ガンマカメラ(H30.2稼働)	H29	-	-	327		
			認定看護管理者	2	2	2	注射薬自動払出装置	H29	-	-	131		
			慢性心不全	1	1	1							
			緩和ケア	1	1	1							
			認知症	0	0	1							
		計		22	23	25							
		専門	小児看護	2	2	2							
			がん看護	1	1	1							
		計		3	3	3							
		合計		25	26	28							

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																
		<p>○研修実績</p> <table border="1" data-bbox="519 284 1108 799"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td> <b>【長期】</b>            ・がん化学療法 H29.4 ～ H29.9 1人            ・認知症看護 H29.7 ～ H30.2 1人   <b>【短期】</b>            ・認定看護管理者（ファースト）            H28:0人→H29:3人            ・医療安全研修            H28:3人→H29:1人         </td> </tr> <tr> <td>学会等参加</td> <td>           ・日本看護学会            ・全国看護セミナー            ・日本看護協会研修            ・岐阜県看護協会研修            ・その他 看護学会等            H28:延べ819人→H29:延べ904人         </td> </tr> </tbody> </table> <p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異なる職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することにより、治療やケアに当たることができた。</li> <li>平成29年度、新たに認知症ケアチームを設置した。</li> </ul> <p>&lt;主な医療チーム&gt;    ICT、緩和ケアチーム、呼吸器ケアチーム、褥瘡ケアチーム、口腔ケアチーム、NST チーム、摂食嚥下チーム、認知症ケアチーム</p>	項目	内 容	認定看護師	<b>【長期】</b> ・がん化学療法 H29.4 ～ H29.9 1人 ・認知症看護 H29.7 ～ H30.2 1人  <b>【短期】</b> ・認定看護管理者（ファースト） H28:0人→H29:3人 ・医療安全研修 H28:3人→H29:1人	学会等参加	・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・その他 看護学会等 H28:延べ819人→H29:延べ904人	<table border="1" data-bbox="1173 252 1774 284"> <tr> <td>(H29.11 稼働)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>*注射薬自動払出装装置の実績については稼働日数</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初看護師人数 (H28:648人 → H29:638人) は減員したものの、長時間勤務やローテーション維持等についての改善を図るとともに、7:1看護体制を上回る体制を確保できた。</li> </ul> <p>○医師等の確保状況 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="1173 552 1789 687"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師数</td> <td>167</td> <td>166</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>常勤歯科医師数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>597</td> <td>609</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年度未現在</p> <p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。</li> </ul> <p>○専門研修への参加状況 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="1173 946 1789 1262"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>214</td> <td>231</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師：臨床検査科</td> <td>146</td> <td>137</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>：病理センター</td> <td></td> <td>37</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>23</td> <td>50</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>58</td> <td>43</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>94</td> <td>174</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>547</td> <td>687</td> <td>647</td> </tr> </tbody> </table> <p>○主な専門研修・講習会等</p> <table border="1" data-bbox="1173 1326 1789 1417"> <tr> <td> <b>【中央放射線部】</b>            ・日本放射線技術学会            ・全国自治体病院放射線部会研修会         </td> </tr> </table>	(H29.11 稼働)					項目/年度	H27	H28	H29	常勤医師数	167	166	171	常勤歯科医師数	3	3	3	常勤看護師数	597	609	600	項目/年度	H27	H28	H29	薬剤師	214	231	227	臨床検査技師：臨床検査科	146	137	129	：病理センター		37	41	臨床工学技士	23	50	36	リハビリ技師	58	43	49	管理栄養士	12	15	20	放射線技師	94	174	145	合計	547	687	647	<b>【中央放射線部】</b> ・日本放射線技術学会 ・全国自治体病院放射線部会研修会		
項目	内 容																																																																				
認定看護師	<b>【長期】</b> ・がん化学療法 H29.4 ～ H29.9 1人 ・認知症看護 H29.7 ～ H30.2 1人  <b>【短期】</b> ・認定看護管理者（ファースト） H28:0人→H29:3人 ・医療安全研修 H28:3人→H29:1人																																																																				
学会等参加	・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・その他 看護学会等 H28:延べ819人→H29:延べ904人																																																																				
(H29.11 稼働)																																																																					
項目/年度	H27	H28	H29																																																																		
常勤医師数	167	166	171																																																																		
常勤歯科医師数	3	3	3																																																																		
常勤看護師数	597	609	600																																																																		
項目/年度	H27	H28	H29																																																																		
薬剤師	214	231	227																																																																		
臨床検査技師：臨床検査科	146	137	129																																																																		
：病理センター		37	41																																																																		
臨床工学技士	23	50	36																																																																		
リハビリ技師	58	43	49																																																																		
管理栄養士	12	15	20																																																																		
放射線技師	94	174	145																																																																		
合計	547	687	647																																																																		
<b>【中央放射線部】</b> ・日本放射線技術学会 ・全国自治体病院放射線部会研修会																																																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本放射線治療セミナー</li> <li>・日本核医学学会総会</li> <li>・日本磁気共鳴医学会</li> <li>・医学物理士ミニマム講習会</li> <li>※H29 年度資格取得者</li> <li>・X線CT認定技師 1 人</li> <li>・救急撮影認定技師 2 人</li> <li>・アドバンス診療放射線技師 1 人</li> </ul> <hr/> <p><b>【臨床検査科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本臨床衛生検査技師会</li> <li>・日本超音波学会</li> <li>・日本超音波検査学会</li> <li>・心臓リハビリテーション学会</li> <li>・日本臨床微生物学会</li> <li>・認定心電図検査技師講習会</li> <li>・日本輸血・細胞治療学会</li> <li>・日本心エコー学会</li> <li>・日本検査血液学会</li> <li>※H29 年度資格取得者</li> <li>・超音波検査士（体表）1 人、（腹部）1 人</li> <li>・超音波検査士（循環器領域）1 人</li> <li>・遺伝子分析科学認定士 1 人</li> <li>・心臓リハビリテーション指導士 1 人</li> <li>・緊急臨床検査士 5 人</li> <li>・認定一般検査技師 1 人</li> <li>・検査採取等に関する厚生労働省指定講習会修了者 3 人</li> </ul> <hr/> <p><b>【病理センター】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本臨床衛生検査技師会</li> <li>・日本病床細胞学会</li> <li>※H29 年度資格取得者</li> <li>・検体採取等に関する厚生労働省指定講習会修了者 2 人</li> <li>・細胞検査士 1 人</li> </ul> <hr/> <p><b>【薬剤センター】</b></p> <p>(医療安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日病薬 医薬品安全管理責任者等講習会</li> </ul> <p>(マネジメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全自病 薬剤管理研修会</li> </ul>		

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			<p>(薬剤業務全般)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日病薬 新任薬剤師研修会</li> <li>・日本医療薬学会年会</li> <li>・日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会</li> <li>・日本麻酔科学会 周術期セミナー</li> <li>・岐阜県病院協会医学会</li> <li>・岐阜県病院薬剤師会研修会</li> <li>・医療薬学フォーラム</li> <li>・自治体病院薬剤師会研修会</li> <li>・日本小児臨床薬理学会</li> <li>・日本緩和医療薬学会</li> <li>・日本 TDM 学会</li> </ul> <p>※H29 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん専門薬剤師 1 人</li> <li>・化療学会 抗菌化学療法認定薬剤師 1 人</li> <li>・日病薬 感染制御認定薬剤師 1 人</li> <li>・小児薬物療法認定薬剤師 2 人</li> </ul> <p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 学会合同呼吸療法認定士認定講習会</li> <li>・日本高次脳障害学会夏期教育研修</li> <li>・岐阜呼吸管理研究会</li> <li>・摂食・嚥下障害セミナー</li> </ul> <p>※H29 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸療法認定士 1 人</li> </ul> <p>【栄養センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国自治体病院学会</li> <li>・岐阜県病院協会医学会</li> <li>・日本心臓リハビリ学会学術集会</li> <li>・日本静脈経腸栄養学会</li> <li>・日本病態栄養学会年次学術集会</li> <li>・がん専門管理栄養士セミナー</li> </ul> <p>※H29 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病態栄養認定管理栄養士 1 人</li> </ul> <p>【臨床工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本臨床工学技士会</li> <li>・岐阜県臨床工学技士会セミナー</li> <li>・岐阜県臨床工学技士会学術大会</li> </ul>		

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																														
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器安全基礎講習会 (ME 技術講習会)</li> <li>・透析液安全管理責任者セミナー</li> <li>・日本人工臓器学会教育セミナー</li> </ul> ※H29 年度資格取得者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定ホスピタルエンジニア 1 人</li> </ul> <p>6 EBM の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療の質の向上を目指したクリニカルパスの作成方法の習得を推進し、チーム医療の意識浸透を図ることを目的とする研修会を 1 回実施、79 人 (多職種) の参加を得た。</li> </ul> <p>○クリニカルパス作成種類数 単位：種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>336</td> <td>337</td> <td>341</td> </tr> </tbody> </table> <p>8 メディカカードの導入などの IT の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療現場での活用を図るため、心臓疾患の患者にメディカカードの作成を勧めた。(平成 29 年度末現在の発行枚数は 12 枚)</li> <li>また、深夜帯の救急外来において、外部 (海外) の放射線専門医による画像コンサルテーションが受けられるよう、システム環境の構築を行った。(平成 30 年度運用開始予定)</li> </ul> <p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生したインシデント・アクシデント事案については、医療安全管理委員会で検討したうえで、病棟会議や医療安全便りを通じて全職員に周知を図った。特に、重大事例につながる事案については、発生原因を明らかにし、再発防止とリスクを回避する方を検討した。</li> </ul> <p>○インシデント・アクシデント報告数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベル 0</td> <td>430</td> <td>411</td> <td>409</td> </tr> <tr> <td>レベル 1</td> <td>2,007</td> <td>1,804</td> <td>1,850</td> </tr> <tr> <td>レベル 2</td> <td>538</td> <td>559</td> <td>502</td> </tr> <tr> <td>レベル 3 a</td> <td>340</td> <td>326</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>小計 (インシデント)</td> <td>3,315</td> <td>3,100</td> <td>3,061</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	336	337	341	項目/年度	H27	H28	H29	レベル 0	430	411	409	レベル 1	2,007	1,804	1,850	レベル 2	538	559	502	レベル 3 a	340	326	300	小計 (インシデント)	3,315	3,100	3,061		
H27	H28	H29																																	
336	337	341																																	
項目/年度	H27	H28	H29																																
レベル 0	430	411	409																																
レベル 1	2,007	1,804	1,850																																
レベル 2	538	559	502																																
レベル 3 a	340	326	300																																
小計 (インシデント)	3,315	3,100	3,061																																

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																				
			<table border="1"> <tr> <td>レベル3 b</td> <td>61</td> <td>68</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>レベル4</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>レベル5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>小計 (アクシデント)</td> <td>61</td> <td>70</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,376</td> <td>3,170</td> <td>3,130</td> </tr> </table> <p>・医療安全研修会を積極的に開催し、多数の参加を得た。 H28:16回 延べ3,621人 → H29:18回 延べ2,960人</p> <p>10 院内感染防止対策の確立          &lt;新生児センター&gt;          ・毎週火曜日、監視培養を継続的に実施している。          ・MRSA の新規検出者数については、28 年度9人から平成 29 年度8人と 11.1%減少した。          &lt;その他&gt;          ・ICT によるラウンドは、チェックリストを用いて週1回、内4週に1回は全病棟で実施した。各病棟へチェックリストの達成割合を報告した。          ・感染制御支援システムを活用し、接触患者リストの作成や菌検出推移の把握を行うとともに、カテーテルなどのデバイス数をカウントし、各部署における感染率の経過を把握した。          ・感染症専門医による抗菌薬の適正指導や、手指消毒剤使用量が増加により、新規 MRSA 検出数が 28 年度 161 件から平成 29 年度 158 件と 1.9 %減少した。          ・感染防止研修会を積極的に開催し、多数の参加を得た。          H28:25回 延べ3,575人 → H29: 45回 延べ 3,057人</p>	レベル3 b	61	68	69	レベル4	0	2	0	レベル5	0	0	0	小計 (アクシデント)	61	70	69	合計	3,376	3,170	3,130		
レベル3 b	61	68	69																						
レベル4	0	2	0																						
レベル5	0	0	0																						
小計 (アクシデント)	61	70	69																						
合計	3,376	3,170	3,130																						
02	※ 患者・住民サービスの向上  1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等の改善等  2 院内環境の快適性の向上  3 医療に関する相談体制の充実	1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 <外来部門> ・検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって、院内滞在時間の縮減を図る取組を継続した。	2 院内環境の快適性の向上 ・治療効果を上げるため、病名と病態にあった病院給食を提供できるように入院時のチェック体制を強化し、栄養管理の充実を図った。 ・患者の嗜好に配慮した病院給食とするため、平成 29 年度嗜好調査を実施するとともに、行事食提供時の意見収集を行いホームページで公表した。 ・平成 29 年度「提案箱」に 439 件（感謝 164 件、意見 118 件、苦情 157 件）の意見が寄せられた。回収から 2 週間後には院内に掲示するとともに、1 か月分をまとめて管理会議で報告し、職員へ	IV	各部門による取組の結果、待ち時間の短縮が図られたのに加え、その他にも継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																														
4 5 6	患者中心の医療の提供 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>検査が必要な患者に対しては検査を先に実施</li> <li>看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施</li> <li>入院患者に対する説明の一元化</li> <li>病診連携による紹介患者については、診察予約時間 30 分以内の診察を徹底</li> </ul> <p>・待ち時間の有効活用に向けた取組を継続した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>待ち時間に待合場所を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを実施</li> <li>診療科に即したパンフレットや図書を配置</li> </ul> <p>・医療機関からの外来予約について、インターネットを活用しての受付を小児科において継続実施した。</p> <p>・患者満足度調査等による待ち時間の把握 患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施するとともに、システムによる待ち時間の把握を年 4 回実施し、状況の把握に努めた。調査の結果、外来患者数が増加し 30 分以上の待ち時間患者の割合が増加したが、患者満足度調査では平均待ち時間が減少した。</p> <p>○患者満足度調査による平均待ち時間 単位：分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28</td> <td>27</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>※予約時刻と実際の診療開始時刻までの時間</p> <p>○システムによる待ち時間別患者構成率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月/待ち時間</th> <th>～30 分</th> <th>30～2 時間</th> <th>2 時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28. 1</td> <td>41. 2</td> <td>49. 2</td> <td>9. 6</td> </tr> <tr> <td>H29. 1</td> <td>51. 1</td> <td>43. 0</td> <td>5. 9</td> </tr> <tr> <td>H30. 1</td> <td>47. 4</td> <td>45. 8</td> <td>6. 8</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	28	27	24	年月/待ち時間	～30 分	30～2 時間	2 時間～	H28. 1	41. 2	49. 2	9. 6	H29. 1	51. 1	43. 0	5. 9	H30. 1	47. 4	45. 8	6. 8	<p>の周知を図った。</p> <p>4 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者の権利や個人情報保護に関する方針をロビーやホームページに掲載した。</li> <li>患者や家族からの請求による個人情報の開示を行った。</li> </ul> <p>○カルテ開示請求・開示件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>133</td> <td>172</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>126</td> <td>166</td> <td>119</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インフォームド・コンセントを徹底するとともに、他病院のセカンドオピニオンを受けやすい環境を整備した。</li> </ul> <p>○セカンドオピニオン実施件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>59</td> <td>71</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜県総合医療センター運営協議会を 2 回開催し、地域の代表者等と意見交換を実施した。</li> <li>平成 29 年 9 月に病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する患者満足度調査を実施し、その結果をホームページで公表するとともに、身だしなみチェックやあいさつの啓発等具体的な取組を実施した。</li> </ul>	項目/年度	H27	H28	H29	請求件数	133	172	128	開示件数	126	166	119	項目/年度	H27	H28	H29	外来受入	23	26	30	他院紹介	59	71	65		
H27	H28	H29																																																	
28	27	24																																																	
年月/待ち時間	～30 分	30～2 時間	2 時間～																																																
H28. 1	41. 2	49. 2	9. 6																																																
H29. 1	51. 1	43. 0	5. 9																																																
H30. 1	47. 4	45. 8	6. 8																																																
項目/年度	H27	H28	H29																																																
請求件数	133	172	128																																																
開示件数	126	166	119																																																
項目/年度	H27	H28	H29																																																
外来受入	23	26	30																																																
他院紹介	59	71	65																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																								
		<p>&lt;臨床検査部門&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>超音波検査（生理検査部門）技師を増員することで、待ち時間の短縮を図った。 H28：9.5人 → H29：12人</li> <li>診療科からの要望に対応し、乳腺エコー室を2部屋で稼働、業務の集約と枠設定の変更を行った。</li> <li>待ち時間の短縮を図るため、採血開始時間を8時とする取組を継続するとともに、1ブース（臨時）の増設を図った。 H28：5ブース → H29：6ブース</li> </ul> <p>○超音波検査件数（外来分） H28：19,684件 → H29：20,542件（4.4%増）</p> <p>○超音波検査待ち時間の推移</p> <table border="1" data-bbox="519 687 1144 831"> <thead> <tr> <th>年月/項目</th> <th>総数</th> <th>60分未満</th> <th>～90分</th> <th>90分超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.4</td> <td>2,078件</td> <td>72.6%</td> <td>22.2%</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>H28.4</td> <td>2,066件</td> <td>73.9%</td> <td>22.8%</td> <td>3.2%</td> </tr> <tr> <td>H29.4</td> <td>2,110件</td> <td>71.7%</td> <td>24.9%</td> <td>3.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;中央放射線部門&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CT検査での予約枠を検査内容で装置ごとに振り分ける取組や、MRI検査での時間外検査枠を設ける取組を継続した。</li> </ul> <p>○検査件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="533 995 1131 1150"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>CT 外来</th> <th>CT 入院</th> <th>MRI 外来</th> <th>MRI 入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>30,425</td> <td>7,074</td> <td>12,334</td> <td>2,664</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>31,185</td> <td>6,878</td> <td>10,636</td> <td>2,067</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>32,696</td> <td>7,436</td> <td>10,835</td> <td>2,068</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;手術部門&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用や手術機材のキット化により手術待ち時間や手術準備時間の短縮を図る取組を継続した。</li> </ul>	年月/項目	総数	60分未満	～90分	90分超	H27.4	2,078件	72.6%	22.2%	5.2%	H28.4	2,066件	73.9%	22.8%	3.2%	H29.4	2,110件	71.7%	24.9%	3.4%	年度/項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院	H27	30,425	7,074	12,334	2,664	H28	31,185	6,878	10,636	2,067	H29	32,696	7,436	10,835	2,068			
年月/項目	総数	60分未満	～90分	90分超																																									
H27.4	2,078件	72.6%	22.2%	5.2%																																									
H28.4	2,066件	73.9%	22.8%	3.2%																																									
H29.4	2,110件	71.7%	24.9%	3.4%																																									
年度/項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院																																									
H27	30,425	7,074	12,334	2,664																																									
H28	31,185	6,878	10,636	2,067																																									
H29	32,696	7,436	10,835	2,068																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																									
		<p>○時間内手術室稼働率・総手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率 (単位: %)</td> <td>68.7</td> <td>66.8</td> <td>69.6</td> </tr> <tr> <td>件数 (単位: 件)</td> <td>7,325</td> <td>7,264</td> <td>7,342</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週木曜日にカンファレンスを開催し、医療相談に係る問題事項についての協議を行った。</li> <li>・外国人の受診を支援するため、県国際交流センターに医療通訳ボランティアの派遣を引き続き依頼するとともに、職員による対応を行った。特に職員による対応件数が増加した。</li> </ul> <p>○医療相談件数 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,687</td> <td>4,914</td> <td>4,794</td> </tr> </tbody> </table> <p>○カンファレンスで協議した事項及び件数 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院の環境</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>患者等からの相談</td> <td>32</td> <td>28</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>患者相談対応力向上のための事例検討</td> <td>7</td> <td>17</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>患者等からの苦情</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>22</td> <td>12</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>○医療通訳病院職員対応件数 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国語</td> <td>145</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>255</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>スペイン語、他</td> <td>227</td> <td>383</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>627</td> <td>788</td> </tr> </tbody> </table> <p>※雇用 H28. 4:1人 (非常勤事務職) → H29. 10:1人 (医療通訳業務専門職)</p>	項目/年度	H27	H28	H29	稼働率 (単位: %)	68.7	66.8	69.6	件数 (単位: 件)	7,325	7,264	7,342	H27	H28	H29	4,687	4,914	4,794	項目/年度	H27	H28	H29	病院の環境	5	3	3	患者等からの相談	32	28	18	患者相談対応力向上のための事例検討	7	17	8	患者等からの苦情	40	39	52	その他	22	12	24	項目/年度	H28	H29	中国語	145	205	英語	255	200	スペイン語、他	227	383	合計	627	788			
項目/年度	H27	H28	H29																																																											
稼働率 (単位: %)	68.7	66.8	69.6																																																											
件数 (単位: 件)	7,325	7,264	7,342																																																											
H27	H28	H29																																																												
4,687	4,914	4,794																																																												
項目/年度	H27	H28	H29																																																											
病院の環境	5	3	3																																																											
患者等からの相談	32	28	18																																																											
患者相談対応力向上のための事例検討	7	17	8																																																											
患者等からの苦情	40	39	52																																																											
その他	22	12	24																																																											
項目/年度	H28	H29																																																												
中国語	145	205																																																												
英語	255	200																																																												
スペイン語、他	227	383																																																												
合計	627	788																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																								
		<p>○医療通訳ボランティア派遣依頼件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポルトガル語</td> <td>258</td> <td>184</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>タガログ語</td> <td>50</td> <td>28</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>331</td> <td>212</td> <td>253</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	ポルトガル語	258	184	205	中国語	23	0	0	タガログ語	50	28	48	合計	331	212	253							
項目/年度	H27	H28	H29																										
ポルトガル語	258	184	205																										
中国語	23	0	0																										
タガログ語	50	28	48																										
合計	331	212	253																										
03	<p>※ 診療体制の充実</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p>	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・患者動向や医療需要の変化に対応した組織改編等に積極的に取り組んだことにより、患者に対してよりきめ細やかなサービスを提供することができた。 ・認知症看護認定看護師を採用し、認知症ケアセンターを整備することで、平成 29 年 7 月 1 日に「認知症ケア加算 1」を取得した。</p> <p>○組織・診療科等の新設等</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>○消化器病センターの再編</td> <td>・胆膵内科の新設</td> <td>・内視鏡治療部を内視鏡部へ統合</td> </tr> <tr> <td>○認知症ケアセンターの新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○中央放射線部の再編</td> <td>・診療支援画像センター及び高次元放射線治療センターの新設（放射線診断部門と放射線治療部門の分離）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	○消化器病センターの再編	・胆膵内科の新設	・内視鏡治療部を内視鏡部へ統合	○認知症ケアセンターの新設			○中央放射線部の再編	・診療支援画像センター及び高次元放射線治療センターの新設（放射線診断部門と放射線治療部門の分離）		<p>2 多様な専門職の積極的な活用 ・年俸制による雇用制度を活用し、高度な専門性を有する医師を引き続き登用した。 年俸制医師 H28：7 人 → H29：7 人 ・職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医療従事者を再雇用し、更なる充実を図った。 医師 H28:0 人 → H29:1 人 看護師 H28:3 人 → H29:3 人 診療放射線技師 H28:3 人 → H29:3 人 臨床検査技師 H28:2 人 → H29:2 人 薬剤師 H28:2 人 → H29:1 人 管理栄養士 H28:0 人 → H29:1 人</p>	IV	消化器病センターや中央放射線部を再編するとともに、認知症ケアセンターを新設し（認知症ケア加算 1 を取得）、医療需要に対応した組織編成を積極的に行っており、項目全体で特に進捗していると評価。															
○消化器病センターの再編	・胆膵内科の新設	・内視鏡治療部を内視鏡部へ統合																											
○認知症ケアセンターの新設																													
○中央放射線部の再編	・診療支援画像センター及び高次元放射線治療センターの新設（放射線診断部門と放射線治療部門の分離）																												
04	<p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携</p> <p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>2 地域連携パスの作成への参加協力及び普及推進</p> <p>3 救急医療コミュニティシステムの活用</p>	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上 ・紹介率・逆紹介率について、年度計画（紹介率 70%以上、逆紹介率 90%以上）の目標を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核機能を果たした。 ・開放型病床登録医療機関及び登録医師数の拡大を目指し、新規に開設した医療機関に対する働きかけを行った。</p> <p>○紹介率・逆紹介率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>64.1</td> <td>72.3</td> <td>75.3</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>84.2</td> <td>94.1</td> <td>99.2</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	紹介率	64.1	72.3	75.3	逆紹介率	84.2	94.1	99.2	<p>2 地域連携パスの作成への参加協力及び普及推進 ・地域連携パスに関する院内への周知、定期的なモニタリングを行うとともに、院内外の相談窓口として連絡調整を行った。 ・地域医師会や岐阜大学医学部附属病院による地域連携パスに係る学習会（学習会:1 回、コーディネーター検討会:1 回、専門部会・運営委員会:18 回）に積極的に参加した。 ・地域連携パスの院内での普及を進めており、現在 17 種類の運用を行っている。</p> <p>○地域連携パスの運用実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携パス名</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性心筋梗塞</td> <td>27</td> <td>110</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>103</td> <td>115</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table>	連携パス名	H27	H28	H29	急性心筋梗塞	27	110	81	大腿骨頸部骨折	103	115	105	IV	近隣医療機関との役割分担や連携強化について、紹介率、逆紹介率ともに目標を上回るなど、地域医療支援病院としての取組に加え、その他も継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	H27	H28	H29																										
紹介率	64.1	72.3	75.3																										
逆紹介率	84.2	94.1	99.2																										
連携パス名	H27	H28	H29																										
急性心筋梗塞	27	110	81																										
大腿骨頸部骨折	103	115	105																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由																																																																												
	4 在宅医療・療養へ移行するための地域の介護・福祉機関との連携強化		<table border="1"> <tr><td>脳卒中</td><td>334</td><td>356</td><td>341</td></tr> <tr><td>胃癌ステージ1</td><td>39</td><td>30</td><td></td></tr> <tr><td>胃癌ステージ2・3</td><td>5</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>胃がん</td><td></td><td></td><td>49</td></tr> <tr><td>肝がん</td><td>0</td><td>0</td><td>6</td></tr> <tr><td>大腸がん</td><td>59</td><td>58</td><td>51</td></tr> <tr><td>乳がん</td><td>55</td><td>60</td><td>27</td></tr> <tr><td>肝炎</td><td>15</td><td>5</td><td>1</td></tr> <tr><td>肺がん</td><td>35</td><td>16</td><td>20</td></tr> <tr><td>糖尿病</td><td>30</td><td>13</td><td>4</td></tr> <tr><td>COPD</td><td>3</td><td>5</td><td>2</td></tr> <tr><td>CKD</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>泌尿器</td><td>50</td><td>81</td><td></td></tr> <tr><td>PSA</td><td></td><td></td><td>45</td></tr> <tr><td>前立腺がん</td><td></td><td></td><td>63</td></tr> <tr><td>尿路上皮がん</td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td>サポートパス</td><td></td><td></td><td>7</td></tr> <tr><td>心不全</td><td></td><td></td><td>18</td></tr> <tr><td>合計</td><td>756</td><td>859</td><td>824</td></tr> </table>	脳卒中	334	356	341	胃癌ステージ1	39	30		胃癌ステージ2・3	5	9		胃がん			49	肝がん	0	0	6	大腸がん	59	58	51	乳がん	55	60	27	肝炎	15	5	1	肺がん	35	16	20	糖尿病	30	13	4	COPD	3	5	2	CKD	1	1	0	泌尿器	50	81		PSA			45	前立腺がん			63	尿路上皮がん			4	サポートパス			7	心不全			18	合計	756	859	824				
脳卒中	334	356	341																																																																																
胃癌ステージ1	39	30																																																																																	
胃癌ステージ2・3	5	9																																																																																	
胃がん			49																																																																																
肝がん	0	0	6																																																																																
大腸がん	59	58	51																																																																																
乳がん	55	60	27																																																																																
肝炎	15	5	1																																																																																
肺がん	35	16	20																																																																																
糖尿病	30	13	4																																																																																
COPD	3	5	2																																																																																
CKD	1	1	0																																																																																
泌尿器	50	81																																																																																	
PSA			45																																																																																
前立腺がん			63																																																																																
尿路上皮がん			4																																																																																
サポートパス			7																																																																																
心不全			18																																																																																
合計	756	859	824																																																																																
			<p>3 救急医療コミュニティシステムの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療情報連携地域協議会に参加し、コミュニティシステムを積極的に活用する体制を維持した。</li> <li>また、岐阜県地域医療連携ネットワーク協議会に参加し、電子カルテ情報を他の医療機関から閲覧可能な環境を維持、平成 29 年度末までの公開累計患者数は、12 診療所等に対し 149 人となった。</li> </ul> <p>4 在宅医療・療養へ移行するための地域の介護・福祉機関との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オープン病床クリニカルミーティングを 1 回開催し、97 人の参加を得た。</li> <li>在宅医療・療養への移行に当たっては、退院後の在宅医療を担う医療機関の医師、看護師、訪問看護ステーションの看護師等と退院前合同カンファレンスを実施した。</li> <li>また、退院後に介護サービスの利用が見込まれる患者に対しては、ケアマネージャーと連携した退院指導を実施した。</li> </ul>																																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																														
			<p>・転院先の医療機関を訪問し、「顔のみえる連携」を図るとともに、医療機関の情報収集を行った結果、在宅復帰率 75%の目標を十分に達成することができた。 H28:94.1% → H29:94.5%</p> <p>・開放型病床については、適正に運用することができた。</p> <p>○開放型病床利用率 単位：%</p> <table border="1" data-bbox="1173 472 1774 547"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>103.8</td> <td>102.0</td> <td>73.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※開放型病床 H26:100床 → H27:20床</p> <p>○退院調整件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1173 643 1774 718"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,684</td> <td>1,747</td> <td>1,758</td> </tr> </tbody> </table> <p>○介護施設・ケアマネージャーからの連携連絡票受理件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1173 813 1774 888"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>330</td> <td>333</td> <td>261</td> </tr> </tbody> </table> <p>○退院前合同カンファレンスの実施件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1173 952 1774 1027"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>136</td> <td>131</td> <td>176</td> </tr> </tbody> </table> <p>○転院先医療機関への訪問件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1173 1091 1774 1166"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>56</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	103.8	102.0	73.0	H27	H28	H29	1,684	1,747	1,758	H27	H28	H29	330	333	261	H27	H28	H29	136	131	176	H27	H28	H29	12	56	31		
H27	H28	H29																																	
103.8	102.0	73.0																																	
H27	H28	H29																																	
1,684	1,747	1,758																																	
H27	H28	H29																																	
330	333	261																																	
H27	H28	H29																																	
136	131	176																																	
H27	H28	H29																																	
12	56	31																																	
05	<p>※ 重点的に取り組む医療</p> <p>1 救命救急センター(救命救急医療)</p> <p>2 心臓血管センター(心臓血管疾患医療)</p>	<p>3 母とこども医療センター(周産期医療)</p> <p>・新生児センター機能とハイリスクの妊産婦等の医療機能などを統合し、産婦人科と小児科の枠を超えた高度医療を提供した。特に、合併症妊娠や異常妊娠、多胎妊娠、産褥異常、胎児異常等の患者の診療を行った。</p> <p>・当院を受診されている妊婦だけではなく、緊急母体搬送で送られてくるハイリスク妊婦を 24 時間態勢で受け入れた。</p>	<p>1 救命救急センター(救命救急医療)</p> <p>・岐阜地域の救命救急センターとして、精神科疾患を除くすべての救命救急疾患に対し全診療科が対応、当院での救急医療の完結を目指し、二次・三次救急患者を 24 時間体制で受け入れた。</p> <p>・受入体制について、外来については、内科系、外科系、小児科系の医師による 24 時間体制としたほか、入院については、主治医制で対応した。一方、臨床検査や放射線検査については、常時、検査可能とし、救急関係診療科の 24 時間呼び出しにより、緊急手</p>	IV	<p>がん患者数の増加や PICU 病床稼働率が向上したことに加え、その他にも継続的な取組ができており、項目全体で特に進捗していると評価。</p>																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																												
3	母とこども医療センター(周産期医療)	<p>○母体搬送の受入件数 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送</td> <td>111 (9)</td> <td>86 (7)</td> <td>134 (7)</td> </tr> <tr> <td>救急搬送</td> <td>23</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ( ) はヘリコプター搬送《内数》</p>	項目/年度	H27	H28	H29	母体搬送	111 (9)	86 (7)	134 (7)	救急搬送	23	6	5	<p>術に常時対応できる体制を確保した。また、麻酔科医、産婦人科医等専門診療科医については、オンコール体制での対応を行った。</p> <p>○病床利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延入院患者数 (単位: 人)</td> <td>8,709</td> <td>8,650</td> <td>8,005</td> </tr> <tr> <td>病床利用率 (単位: %)</td> <td>79.3</td> <td>79.0</td> <td>73.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>○救急車受入状況 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車受入件数</td> <td>6,104</td> <td>5,851</td> <td>5,545</td> </tr> <tr> <td>一日平均件数</td> <td>16.7</td> <td>16.0</td> <td>15.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>○救急外来患者 (診療科別: 上位のみ) 単位: 人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>9,215</td> <td>7,468</td> <td>6,884</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>3,111</td> <td>2,835</td> <td>2,910</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>3,329</td> <td>2,911</td> <td>2,803</td> </tr> <tr> <td>総合診療科</td> <td>4,870</td> <td>4,295</td> <td>4,009</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>2,200</td> <td>1,817</td> <td>1,480</td> </tr> <tr> <td>循環器内科</td> <td>2,049</td> <td>1,926</td> <td>1,847</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>1,390</td> <td>1,357</td> <td>1,308</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7,855</td> <td>6,744</td> <td>6,586</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>34,019</td> <td>29,353</td> <td>27,827</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 心臓血管センター(心臓血管疾患医療)</p> <p>・内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が連携してチーム医療を行う県内初の施設として、心臓血管系の疾患患者に対応するとともに、不整脈科等設置した専門の診療科において、それぞれの患者に最適な治療を提供することができた。</p> <p>・年間の手術件数は305件で、心臓外科領域では冠動脈バイパス術などの虚血性心疾患が57件、人工弁置換術、弁形成術などの弁膜症が82件であった。血管外科領域では、大動脈瘤手術、ステントグラフト内挿術などの大血管が105件、動脈バイパス術などの末梢血管が43件あった。</p>	項目/年度	H27	H28	H29	延入院患者数 (単位: 人)	8,709	8,650	8,005	病床利用率 (単位: %)	79.3	79.0	73.1	項目/年度	H27	H28	H29	救急車受入件数	6,104	5,851	5,545	一日平均件数	16.7	16.0	15.2	項目/年度	H27	H28	H29	小児科	9,215	7,468	6,884	消化器内科	3,111	2,835	2,910	整形外科	3,329	2,911	2,803	総合診療科	4,870	4,295	4,009	外科	2,200	1,817	1,480	循環器内科	2,049	1,926	1,847	神経内科	1,390	1,357	1,308	その他	7,855	6,744	6,586	合計	34,019	29,353	27,827		
項目/年度	H27	H28	H29																																																																														
母体搬送	111 (9)	86 (7)	134 (7)																																																																														
救急搬送	23	6	5																																																																														
項目/年度	H27	H28	H29																																																																														
延入院患者数 (単位: 人)	8,709	8,650	8,005																																																																														
病床利用率 (単位: %)	79.3	79.0	73.1																																																																														
項目/年度	H27	H28	H29																																																																														
救急車受入件数	6,104	5,851	5,545																																																																														
一日平均件数	16.7	16.0	15.2																																																																														
項目/年度	H27	H28	H29																																																																														
小児科	9,215	7,468	6,884																																																																														
消化器内科	3,111	2,835	2,910																																																																														
整形外科	3,329	2,911	2,803																																																																														
総合診療科	4,870	4,295	4,009																																																																														
外科	2,200	1,817	1,480																																																																														
循環器内科	2,049	1,926	1,847																																																																														
神経内科	1,390	1,357	1,308																																																																														
その他	7,855	6,744	6,586																																																																														
合計	34,019	29,353	27,827																																																																														
4	がん医療センター(がん医療)																																																																																
5	女性医療センター(女性医療)	<p>○産科合併症 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>早産</td> <td>82</td> <td>78</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>PIH</td> <td>43</td> <td>35</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>常位胎盤・早期剥離</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>胎盤位置異常</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>羊水の異常</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>胎児異常</td> <td>36</td> <td>32</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>IUGR</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	早産	82	78	114	PIH	43	35	23	常位胎盤・早期剥離	10	12	11	胎盤位置異常	18	20	28	羊水の異常	6	15	7	胎児異常	36	32	33	IUGR	10	5	32																																															
項目/年度	H27	H28	H29																																																																														
早産	82	78	114																																																																														
PIH	43	35	23																																																																														
常位胎盤・早期剥離	10	12	11																																																																														
胎盤位置異常	18	20	28																																																																														
羊水の異常	6	15	7																																																																														
胎児異常	36	32	33																																																																														
IUGR	10	5	32																																																																														
6	小児医療センター(こども医療)	<p>○合併症妊娠 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婦人科系疾患</td> <td>69</td> <td>54</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>心・血管疾患</td> <td>60</td> <td>59</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>血液疾患</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>腎疾患</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>糖尿病・妊娠性糖尿病</td> <td>26</td> <td>21</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>甲状腺疾患</td> <td>27</td> <td>21</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>自己免疫・膠原病</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>呼吸器疾患</td> <td>32</td> <td>21</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>消化器疾患</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>精神・神経系</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>運動機能系</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	婦人科系疾患	69	54	69	心・血管疾患	60	59	59	血液疾患	3	2	4	腎疾患	3	5	8	糖尿病・妊娠性糖尿病	26	21	23	甲状腺疾患	27	21	29	自己免疫・膠原病	2	3	3	呼吸器疾患	32	21	27	消化器疾患	5	6	6	精神・神経系	20	25	10	運動機能系	0	0	2																															
項目/年度	H27	H28	H29																																																																														
婦人科系疾患	69	54	69																																																																														
心・血管疾患	60	59	59																																																																														
血液疾患	3	2	4																																																																														
腎疾患	3	5	8																																																																														
糖尿病・妊娠性糖尿病	26	21	23																																																																														
甲状腺疾患	27	21	29																																																																														
自己免疫・膠原病	2	3	3																																																																														
呼吸器疾患	32	21	27																																																																														
消化器疾患	5	6	6																																																																														
精神・神経系	20	25	10																																																																														
運動機能系	0	0	2																																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																																
		<p>○ハイリスク妊婦・分娩等 (対象者) 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合周産期加算</td> <td>230</td> <td>206</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク妊娠</td> <td>25</td> <td>46</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク分娩</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>救急加算</td> <td>123</td> <td>88</td> <td>131</td> </tr> </tbody> </table> <p>○保健指導実績 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健指導</td> <td>1,024</td> <td>868</td> <td>921</td> </tr> <tr> <td>母乳相談</td> <td>140</td> <td>127</td> <td>151</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;新生児医療センターの運営&gt;  ・平成 28 年度に実施した病棟の拡張工事完了後、重症患者にも余裕を持った診療環境が確保できている。  ・母体搬送の増加以上に院内出生入院数が大幅に増加した。  ・極低出生体重児入院数も増加した。  ・院外出生児の入院数も増加した。  ・専用のドクターカー (すこやか号) により、医師同乗で未熟児をはじめとする新生児疾患患者の搬送を行った。</p> <p>○出生、母体搬送件数 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内出生</td> <td>136</td> <td>115</td> <td>181</td> </tr> <tr> <td>院外出生</td> <td>63</td> <td>73</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>母体搬送</td> <td>62</td> <td>48</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児</td> <td>27</td> <td>23</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>極低出生体重児</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table> <p>○新生児手術状況 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児心臓外科</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>小児脳神経外科</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>小児外科</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科(気管切開)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	総合周産期加算	230	206	230	ハイリスク妊娠	25	46	48	ハイリスク分娩	18	18	21	救急加算	123	88	131	項目/年度	H27	H28	H29	保健指導	1,024	868	921	母乳相談	140	127	151	項目/年度	H27	H28	H29	院内出生	136	115	181	院外出生	63	73	98	母体搬送	62	48	84	超低出生体重児	27	23	25	極低出生体重児	39	40	52	項目/年度	H27	H28	H29	小児心臓外科	9	3	9	小児脳神経外科	7	5	4	小児外科	14	16	12	耳鼻科(気管切開)	0	1	1	<p>○手術・検査数 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓カテーテル</td> <td>1,397</td> <td>1,274</td> <td>1,229</td> </tr> <tr> <td>PCI(経皮的冠動脈形成術)</td> <td>484</td> <td>476</td> <td>515</td> </tr> </tbody> </table> <p>○循環器系 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ablation (アブレーション)</td> <td>242</td> <td>260</td> <td>263</td> </tr> <tr> <td>PMI (ペースメーカー)</td> <td>116</td> <td>121</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>CRT (心臓再同期療法)</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>ICD (植込み型除細動器)</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>CRT-D (両室ペーシング機能付植込み型除細動器)</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>○心臓血管系 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EVAR (ステントグラフト内挿術)</td> <td>57</td> <td>55</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>TEVAR (胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>TAVI (TAVR) (経カテーテル大動脈弁置換術)</td> <td>17</td> <td>40</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	心臓カテーテル	1,397	1,274	1,229	PCI(経皮的冠動脈形成術)	484	476	515	項目/年度	H27	H28	H29	Ablation (アブレーション)	242	260	263	PMI (ペースメーカー)	116	121	110	CRT (心臓再同期療法)	1	4	6	ICD (植込み型除細動器)	22	22	39	CRT-D (両室ペーシング機能付植込み型除細動器)	13	3	11	項目/年度	H27	H28	H29	EVAR (ステントグラフト内挿術)	57	55	45	TEVAR (胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)	24	26	18	TAVI (TAVR) (経カテーテル大動脈弁置換術)	17	40	37		
項目/年度	H27	H28	H29																																																																																																																																		
総合周産期加算	230	206	230																																																																																																																																		
ハイリスク妊娠	25	46	48																																																																																																																																		
ハイリスク分娩	18	18	21																																																																																																																																		
救急加算	123	88	131																																																																																																																																		
項目/年度	H27	H28	H29																																																																																																																																		
保健指導	1,024	868	921																																																																																																																																		
母乳相談	140	127	151																																																																																																																																		
項目/年度	H27	H28	H29																																																																																																																																		
院内出生	136	115	181																																																																																																																																		
院外出生	63	73	98																																																																																																																																		
母体搬送	62	48	84																																																																																																																																		
超低出生体重児	27	23	25																																																																																																																																		
極低出生体重児	39	40	52																																																																																																																																		
項目/年度	H27	H28	H29																																																																																																																																		
小児心臓外科	9	3	9																																																																																																																																		
小児脳神経外科	7	5	4																																																																																																																																		
小児外科	14	16	12																																																																																																																																		
耳鼻科(気管切開)	0	1	1																																																																																																																																		
項目/年度	H27	H28	H29																																																																																																																																		
心臓カテーテル	1,397	1,274	1,229																																																																																																																																		
PCI(経皮的冠動脈形成術)	484	476	515																																																																																																																																		
項目/年度	H27	H28	H29																																																																																																																																		
Ablation (アブレーション)	242	260	263																																																																																																																																		
PMI (ペースメーカー)	116	121	110																																																																																																																																		
CRT (心臓再同期療法)	1	4	6																																																																																																																																		
ICD (植込み型除細動器)	22	22	39																																																																																																																																		
CRT-D (両室ペーシング機能付植込み型除細動器)	13	3	11																																																																																																																																		
項目/年度	H27	H28	H29																																																																																																																																		
EVAR (ステントグラフト内挿術)	57	55	45																																																																																																																																		
TEVAR (胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)	24	26	18																																																																																																																																		
TAVI (TAVR) (経カテーテル大動脈弁置換術)	17	40	37																																																																																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																							
		<p>4 がん医療センター(がん医療)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がん診療連携拠点病院として地域の医療機関と連携、あらゆる病期のがん患者に対して、良質な医療を提供した結果、入院患者、外来患者とも大幅に増加した。特に、放射線治療科、泌尿器科及び乳腺外科の増加が目立った。</li> </ul> <p>○がん患者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>2,668</td> <td>2,689</td> <td>2,801</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>61,295</td> <td>63,281</td> <td>67,028</td> </tr> <tr> <td>院内死亡がん患者</td> <td>93</td> <td>81</td> <td>91</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療従事者や一般市民を対象とした研修会を開催し、がん医療に係る啓発を行った。</li> </ul> <p>○院内研修会の実施状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催月</th> <th>対象</th> <th>内 容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td> <td>患者</td> <td>正しい感染症予防について</td> <td>21 ( 16 )</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>患者</td> <td>食欲がわかない時の食事ヒント</td> <td>16 ( 10 )</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>患者</td> <td>がん患者さんにおすすめの生活習慣と漢方薬</td> <td>21 (14)</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>一般市民</td> <td>市民講演会「いのちに寄り添う」</td> <td>333 ( 286 )</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>医療従事者</td> <td>在宅緩和地域連携研修会</td> <td>100 ( 81 )</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ( ) は院外《外数》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がん事例の検討を行う「がんカンファレンス」を奇数月に実施、院内・外から157人の参加を得た。また、偶数月には、末期がん患者の症例や課題を検討する「病診連携緩和ケアカンファレンス」を実施、院内・外から267人の参加を得た。</li> <li>がん認定看護師及びがん関連分野認定看護師が、がん治療及び療</li> </ul>	項目/年度	H27	H28	H29	入院	2,668	2,689	2,801	外来	61,295	63,281	67,028	院内死亡がん患者	93	81	91	開催月	対象	内 容	参加者	10月	患者	正しい感染症予防について	21 ( 16 )	2月	患者	食欲がわかない時の食事ヒント	16 ( 10 )	2月	患者	がん患者さんにおすすめの生活習慣と漢方薬	21 (14)	2月	一般市民	市民講演会「いのちに寄り添う」	333 ( 286 )	3月	医療従事者	在宅緩和地域連携研修会	100 ( 81 )		
項目/年度	H27	H28	H29																																									
入院	2,668	2,689	2,801																																									
外来	61,295	63,281	67,028																																									
院内死亡がん患者	93	81	91																																									
開催月	対象	内 容	参加者																																									
10月	患者	正しい感染症予防について	21 ( 16 )																																									
2月	患者	食欲がわかない時の食事ヒント	16 ( 10 )																																									
2月	患者	がん患者さんにおすすめの生活習慣と漢方薬	21 (14)																																									
2月	一般市民	市民講演会「いのちに寄り添う」	333 ( 286 )																																									
3月	医療従事者	在宅緩和地域連携研修会	100 ( 81 )																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																												
		<p>養に携わった。</p> <p>○がん治療及び療養に携わるがん認定看護師等</p> <table border="1" data-bbox="519 352 1144 486"> <tr> <td>がん看護専門看護師 1 人、がん性疼痛看護師認定看護師 1 人、 がん化学療法認定看護師 2 人、がん放射線療法認定看護 1 人、 乳がん看護認定看護師 1 人、緩和ケア認定看護師 1 人、WOC3 人、摂食嚥下障害認定看護師 1 人</td> </tr> </table> <p>・身体的・精神的な苦痛を和らげる緩和ケアについて、チームとして取り組んだ。</p> <p>○緩和ケアチームの人員体制等</p> <table border="1" data-bbox="519 651 1144 751"> <tr> <td>・ 医師 5 人、看護師 3 人、薬剤師 2 人、臨床心理士 2 人、栄養士 2 人、リハビリ 4 人 ・ 依頼者数 253 人</td> </tr> </table> <p>○治療の実績 <span style="float:right">単位：人</span></p> <table border="1" data-bbox="519 818 1144 1026"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外科的治療</td> <td>1,336 (131)</td> <td>1,399 (130)</td> <td>1,350 (121)</td> </tr> <tr> <td>外来がん化学療法</td> <td>4,368</td> <td>4,773</td> <td>4,847</td> </tr> <tr> <td>入院がん化学療法</td> <td>2,217</td> <td>2,178</td> <td>2,214</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>350</td> <td>356</td> <td>406</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）はダ・ヴィンチによる手術《内数》</p> <p>・がん相談支援センターとして、「相談室」、「退院サポート部」及び「セカンドオピニオン」のがん相談をとりまとめている。 ・がん患者の就労支援として、月 1 回、社会保険労務士による相談を実施した。</p> <p>○がん相談支援センターの活動実績 <span style="float:right">単位：件</span></p> <table border="1" data-bbox="519 1289 1122 1366"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,075</td> <td>1,435</td> <td>1,366</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成 24 年度から、がん患者や家族のための「ほっとサロン」を</p>	がん看護専門看護師 1 人、がん性疼痛看護師認定看護師 1 人、 がん化学療法認定看護師 2 人、がん放射線療法認定看護 1 人、 乳がん看護認定看護師 1 人、緩和ケア認定看護師 1 人、WOC3 人、摂食嚥下障害認定看護師 1 人	・ 医師 5 人、看護師 3 人、薬剤師 2 人、臨床心理士 2 人、栄養士 2 人、リハビリ 4 人 ・ 依頼者数 253 人	項目／年度	H27	H28	H29	外科的治療	1,336 (131)	1,399 (130)	1,350 (121)	外来がん化学療法	4,368	4,773	4,847	入院がん化学療法	2,217	2,178	2,214	放射線治療	350	356	406	H27	H28	H29	1,075	1,435	1,366			
がん看護専門看護師 1 人、がん性疼痛看護師認定看護師 1 人、 がん化学療法認定看護師 2 人、がん放射線療法認定看護 1 人、 乳がん看護認定看護師 1 人、緩和ケア認定看護師 1 人、WOC3 人、摂食嚥下障害認定看護師 1 人																																	
・ 医師 5 人、看護師 3 人、薬剤師 2 人、臨床心理士 2 人、栄養士 2 人、リハビリ 4 人 ・ 依頼者数 253 人																																	
項目／年度	H27	H28	H29																														
外科的治療	1,336 (131)	1,399 (130)	1,350 (121)																														
外来がん化学療法	4,368	4,773	4,847																														
入院がん化学療法	2,217	2,178	2,214																														
放射線治療	350	356	406																														
H27	H28	H29																															
1,075	1,435	1,366																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																		
		<p>毎日開催し、ピアサポーターによる支援を実施した。また、ほっとサロン学習会を2月ごとに開催、がん患者や家族がともに学び、交流ができる場を確保した。また、この取組が院内で定着し、広く周知された結果、利用人数が大幅に増加した。</p> <p>○ほっとサロン利用人数 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="519 451 1117 521"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,699</td> <td>1,804</td> <td>2,105</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 女性医療センター(女性医療)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女性医療センターとして、婦人科疾患、乳腺疾患、更年期障害等の女性特有の疾患を中心に、各科の枠を超えた医療を提供することができた。</li> <li>各診療科の常勤女性医師と臨床心理士による心理カウンセリング等のサポートを実施した。</li> <li>「女性専用病棟」である8階東病棟において、女性特有の疾患を持つ患者が安心して治療を受けられるよう、プライバシーの確保や安らぎづくりに努めた結果、入院患者が大幅に増加した。</li> <li>平均在院日数の短縮により、ベットコントロールに余裕ができたため、新規入院患者が増加した。</li> </ul> <p>○実績(8階東入院患者数) 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="519 983 1144 1190"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>549</td> <td>479</td> <td>610</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>518</td> <td>522</td> <td>569</td> </tr> <tr> <td>消化器科</td> <td>194</td> <td>224</td> <td>181</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>113</td> <td>117</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,374</td> <td>1,342</td> <td>1,459</td> </tr> </tbody> </table> <p>○女性科疾患 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="519 1257 1144 1428"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卵巣がん</td> <td>88</td> <td>108</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>卵巣腫瘍</td> <td>70</td> <td>59</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>子宮癌(体・内膜)</td> <td>73</td> <td>59</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>子宮筋腫</td> <td>59</td> <td>51</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	1,699	1,804	2,105	項目/年度	H27	H28	H29	産婦人科	549	479	610	外科	518	522	569	消化器科	194	224	181	その他	113	117	99	合計	1,374	1,342	1,459	項目/年度	H27	H28	H29	卵巣がん	88	108	167	卵巣腫瘍	70	59	60	子宮癌(体・内膜)	73	59	70	子宮筋腫	59	51	48			
H27	H28	H29																																																					
1,699	1,804	2,105																																																					
項目/年度	H27	H28	H29																																																				
産婦人科	549	479	610																																																				
外科	518	522	569																																																				
消化器科	194	224	181																																																				
その他	113	117	99																																																				
合計	1,374	1,342	1,459																																																				
項目/年度	H27	H28	H29																																																				
卵巣がん	88	108	167																																																				
卵巣腫瘍	70	59	60																																																				
子宮癌(体・内膜)	73	59	70																																																				
子宮筋腫	59	51	48																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																										
		<table border="1" data-bbox="519 252 1144 320"> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>91</td> <td>73</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>224</td> <td>236</td> <td>216</td> </tr> </table> <p data-bbox="519 357 1120 384">○女性外来患者数 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="519 387 1120 456"> <tr> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>666</td> <td>763</td> <td>782</td> </tr> </table> <p data-bbox="519 496 1149 852"> <b>6 小児医療センター(こども医療)</b>          &lt;小児医療センター(こども医療)の運営&gt;          ・小児医療の拠点病院として、一般の医療機関では対応が困難な小児の疾患に対し、高度で専門的な医療を提供した。          ・6床の PICU(小児集中治療室)により、重篤な小児患者への対応を行った。          ・県外からの紹介患者の増加が入院患者の増加や稼働率の向上につながった。          ・岐阜県の小児医療の中心的な役割を担う施設として、平成 29 年 4 月、日本小児総合医療施設協議会(JACHRI)に入会、岐阜県初の参加施設となった。       </p> <p data-bbox="519 892 806 919">○PICU における病床稼働状況</p> <table border="1" data-bbox="519 922 1135 1026"> <tr> <td>項目/年度</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>入院患者数(人)</td> <td>215</td> <td>190</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>59.7</td> <td>51.5</td> <td>74.8</td> </tr> </table> <p data-bbox="519 1029 741 1056">※H27.7(4床 → 6床)</p> <p data-bbox="519 1096 1149 1321">         &lt;重症心身障がい児施設の運営&gt;          ・濃厚な医療的ケアが必要な重症心身障がい児の容態悪化に対応する小児医療センターの医師呼び出し体制を構築するとともに、総合リハビリテーションセンターによる障害の維持・改善や臨床工学部による人工呼吸器等医療機器の点検・管理、薬剤部、栄養管理部の他、医療安全部、感染対策部等と連携したチーム医療を推進した。       </p>	子宮頸がん	91	73	94	乳がん	224	236	216	H27	H28	H29	666	763	782	項目/年度	H27	H28	H29	入院患者数(人)	215	190	225	稼働率(%)	59.7	51.5	74.8			
子宮頸がん	91	73	94																												
乳がん	224	236	216																												
H27	H28	H29																													
666	763	782																													
項目/年度	H27	H28	H29																												
入院患者数(人)	215	190	225																												
稼働率(%)	59.7	51.5	74.8																												

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
		○施設の人員体制 医師 3 人、看護師 14 人、児童発達支援管理責任者 1 人、保育士 2 人 (うち児童指導員 1 人)、介護福祉士 9 人 (加えて 2 人を新規採用予定)、理学療法士 8 人、臨床心理士 1 人、事務 2 人			

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	<p>1-2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。</p> <p>※ 調査及び臨床研究等の推進 高度・先進医療の各分野において、疫学調査や診断技法・治療法の開発、臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び岐阜地域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。</p> <p>※ 診療情報等の活用 電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。</p>
------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																				
06	<p>※ 調査及び臨床研究等の推進</p> <p>1 臨床研究及び治験の推進</p> <p>2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進</p>		<p>1 臨床研究及び治験の推進 ・治験実施件数は前年並みとなったが、臨床研究受託研究件数は、前年を上回る実績となった。</p> <p>○治験 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>治験症例件数</td> <td>92</td> <td>95</td> <td>69</td> </tr> </tbody> </table> <p>○臨床研究事業 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託研究件数</td> <td>54</td> <td>78</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	治験実施件数	29	29	29	治験症例件数	92	95	69	項目/年度	H27	H28	H29	受託研究件数	54	78	85	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価
項目/年度	H27	H28	H29																						
治験実施件数	29	29	29																						
治験症例件数	92	95	69																						
項目/年度	H27	H28	H29																						
受託研究件数	54	78	85																						

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			<p>○主な臨床研究事業</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準化学療法に不応・不耐の切除不能進行・再発大腸癌に対する TFD(ロンサーフ)+Bevacizumab 併用療法の RAS 遺伝子変異有無別の有効性と安全性を確認する第Ⅱ相試験</li> <li>・安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサバン単剤療法に関する臨床研究</li> </ul> </div> <p>2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜大学の寄附講座への参加を開始した。</li> <li>先端画像開発講座 (H29 ~ H33)</li> </ul>		
07	<p>※ 診療情報等の活用</p> <p>1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p>		<p>1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師が記載した電子カルテについて、記述内容等を診療情報管理委員会で監査し、そのレベル向上を図るとともに、医療画像の提供 (7,445 件) やぎふ清流ネットの活用により、病診連携の実現に努めた。</li> <li>・診療情報として蓄積された DPC データについては、多職種で構成する分析チームにより、分析ソフトによる解析とコンサルタントを活用した 8 診療科の分析を実施した。</li> </ul> <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテ上の「退院サマリー」について、病歴管理システムにデータを連携・集計することにより医学統計書を作成した。また、「がん登録サマリー」については、がん登録システムを連携させることにより、地域がん登録届出票を作成した。</li> <li>・診療内容やカンファレンス等については、診療科・センター毎にホームページにて随時情報提供を行った。</li> <li>・QI 活動では、京都大学が研究している QIP (Quality Indicator/Improvement Project) 事業 (指標数: 139) に参加し、委員会や医局会等での報告によりフィードバック内容を共有した。</li> </ul>	III	<p>継続的に取組ができてい るが、平年並みの実績と 評価</p>

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	<p>1-3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。</p> <p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実          専門医等の研修施設として認められた病院(臨床研修病院)として、臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医)の積極的な受入れを行うこと。          岐阜大学医学部附属病院、岐阜県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を生かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。</p> <p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施          医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。</p>
------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																				
08	<p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>1 質の高い医療従事者の養成</p> <p>2 後期研修医に対する研修等</p>	<p>2 後期研修医に対する研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度を大幅に上回る後期研修医(レジデント)を確保することができた。</li> <li>専門医機構から、内科、小児科、整形外科が新専門医制度における基幹病院として認定された。</li> </ul> <p>○学会参加者数(延べ人数) 単位:人</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>190</td> <td>74</td> <td>97</td> </tr> </table> <p>○後期研修医数(各年度末時点) 単位:人</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>項目/年度</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	H27	H28	H29	190	74	97	項目/年度	H27	H28	H29	医師	31	31	46	歯科医師	0	0	0	<p>1 質の高い医療従事者の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各診療科・部において医療従事者の養成を実施した。</li> </ul> <p>○平成29年度医師派遣状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>診療科</td> <td>派遣先</td> </tr> <tr> <td>循環器内科</td> <td>大阪大学医学部附属病院</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>東京都立小児総合医療センター</td> </tr> </table> <p>○初期臨床研修医数(各年度末時点) 単位:人</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>項目/年度</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table>	診療科	派遣先	循環器内科	大阪大学医学部附属病院	小児科	東京都立小児総合医療センター	項目/年度	H27	H28	H29	医師	32	33	31	歯科医師	1	2	2	IV	<p>後期研修医の増加や内科、小児科、整形外科が新専門医制度における基幹病院として認定されたことに加え、その他にも継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。</p>
H27	H28	H29																																							
190	74	97																																							
項目/年度	H27	H28	H29																																						
医師	31	31	46																																						
歯科医師	0	0	0																																						
診療科	派遣先																																								
循環器内科	大阪大学医学部附属病院																																								
小児科	東京都立小児総合医療センター																																								
項目/年度	H27	H28	H29																																						
医師	32	33	31																																						
歯科医師	1	2	2																																						
09	<p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施</p> <p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p>		<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内医療従事者の育成を図るため、医学生をはじめ看護学生、コメディカルを目指す学生の実習等の受入を行った。</li> </ul>	III	<p>継続的に取組ができてい るが、平年並みの実績と 評価</p>																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																		
	2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実		<p>○医学生の実習等受入状況 (実人数) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生 (実習)</td> <td>53</td> <td>42</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>医学生 (病院見学)</td> <td>83</td> <td>90</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>○看護学生の実習受入状況 (延べ人数) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学生</td> <td>9,475</td> <td>9,520</td> <td>8,676</td> </tr> </tbody> </table> <p>○コメディカルの実習受入状況 (実人数) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コメディカル</td> <td>74</td> <td>102</td> <td>101</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 ・救急救命士の病院実習や救急救命士取得のための臨床実習を受け入れた。</p> <p>○実習受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>74</td> <td>59</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	医学生 (実習)	53	42	42	医学生 (病院見学)	83	90	100	項目/年度	H27	H28	H29	看護学生	9,475	9,520	8,676	項目/年度	H27	H28	H29	コメディカル	74	102	101	H27	H28	H29	74	59	26		
項目/年度	H27	H28	H29																																				
医学生 (実習)	53	42	42																																				
医学生 (病院見学)	83	90	100																																				
項目/年度	H27	H28	H29																																				
看護学生	9,475	9,520	8,676																																				
項目/年度	H27	H28	H29																																				
コメディカル	74	102	101																																				
H27	H28	H29																																					
74	59	26																																					

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>1-4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。</p> <p>※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を積極的に行うこと。 代診医師の派遣や巡回診療等、県全体での広域的なへき地医療支援事業の企画・調整など、協力病院として県におけるへき地医療対策を円滑かつ効率的に実施すること。</p> <p>※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。</p> <p>※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																								
10	<p>※ 地域医療への支援</p> <p>1 地域医療水準の向上</p> <p>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援</p> <p>3 へき地医療対策の支援</p>	<p>1 地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オープン病床クリニカルミーティングを開催し、地域の医療機関との連携を図った。</li> <li>高度医療機器の共同利用を促進した結果、MRI の利用件数が大幅に増加した。</li> </ul> <p>○高度医療機器の共同利用実績 単位：件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>432</td> <td>374</td> <td>406</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>268</td> <td>133</td> <td>261</td> </tr> <tr> <td>PET</td> <td>52</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>遠隔画像診断機器</td> <td>213</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・共同診療の推進 母とこども医療センターの夜間・休日診療に7人の勤務医・開業医が協力するとともに、各務原市医師会所属医師8人が小児輪番日において共同診療を実施した。</p> <p>○輪番制実施状況 単位：日</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児</td> <td>260</td> <td>275</td> <td>259</td> </tr> <tr> <td>内科・外科系</td> <td>75</td> <td>94</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	CT	432	374	406	MRI	268	133	261	PET	52	0	0	遠隔画像診断機器	213	0	0	項目/年度	H27	H28	H29	小児	260	275	259	内科・外科系	75	94	75	<p>3 へき地医療対策の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県とへき地医療支援機構運営委託契約を締結、医師である専任担当官を配置し、へき地診療所等に対する派遣調整やへき地医療従事者に対する研修会を開催した。</li> <li>後期研修プログラムの中に一定期間の医師不足地域での勤務を含めることで医師不足の解消を図る「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」に参加し、県立下呂温泉病院に対して後期研修医を派遣した。</li> </ul> <p>○後期研修医のへき地派遣状況 (延べ人数) 単位：人</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>機関名・年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>303</td> <td>313</td> <td>312</td> </tr> </tbody> </table>	機関名・年度	H27	H28	H29	県立下呂温泉病院	303	313	312	IV	他の医療機関への人的支援を積極的に行ったことに加え、その他も継続的な取組が実施できており、項目全体として特に進捗していると評価。
項目/年度	H27	H28	H29																																										
CT	432	374	406																																										
MRI	268	133	261																																										
PET	52	0	0																																										
遠隔画像診断機器	213	0	0																																										
項目/年度	H27	H28	H29																																										
小児	260	275	259																																										
内科・外科系	75	94	75																																										
機関名・年度	H27	H28	H29																																										
県立下呂温泉病院	303	313	312																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																				
		<p>○開放型病床の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同指導 (単位:回)</td> <td>7.2</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>病床利用率 (単位:%)</td> <td>103.8</td> <td>102.0</td> <td>73.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※共同指導回数は月平均、開放型病床 H26:100床 → H27:20床</p> <p>・ぎふ清流ネットによる電子カルテ診療情報の提供 岐阜県医師会が運用する「ぎふ清流ネット」に参加し、地域の医療機関に当センターの電子カルテ診療情報を提供した。</p> <p>○ぎふ清流ネット公開状況 (累計) 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関数</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>患者数</td> <td>35</td> <td>110</td> <td>149</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H27.10 運用開始</p> <p>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援 ・県立下呂温泉病院や高山赤十字病院等に対して、診療上の人的支援を行った。特に、高山赤十字病院に対する人的支援が増加した。</p> <p>○他の医療機関への人的支援の状況 (延べ人数) 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む)</td> <td>609</td> <td>623</td> <td>629</td> </tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>378</td> </tr> <tr> <td>揖斐厚生病院</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>藤橋国保診療所 ※</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>久々野診療所 ※</td> <td>9</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>郡上市民病院</td> <td>67</td> <td>71</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>中濃厚生病院</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>久美愛厚生病院</td> <td>23</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>735</td> <td>720</td> <td>1,089</td> </tr> </tbody> </table> <p>※岐阜県へき地医療支援機構依頼分</p>	項目/年度	H27	H28	H29	共同指導 (単位:回)	7.2	11	11	病床利用率 (単位:%)	103.8	102.0	73.0	項目/年度	H27	H28	H29	医療機関数	6	9	12	患者数	35	110	149	項目/年度	H27	H28	H29	県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む)	609	623	629	高山赤十字病院	12	12	378	揖斐厚生病院	1	1	—	下呂市立金山病院	12	12	12	藤橋国保診療所 ※	—	1	—	久々野診療所 ※	9	—	—	郡上市民病院	67	71	70	中濃厚生病院	2	—	—	久美愛厚生病院	23	—	—	合計	735	720	1,089			
項目/年度	H27	H28	H29																																																																						
共同指導 (単位:回)	7.2	11	11																																																																						
病床利用率 (単位:%)	103.8	102.0	73.0																																																																						
項目/年度	H27	H28	H29																																																																						
医療機関数	6	9	12																																																																						
患者数	35	110	149																																																																						
項目/年度	H27	H28	H29																																																																						
県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む)	609	623	629																																																																						
高山赤十字病院	12	12	378																																																																						
揖斐厚生病院	1	1	—																																																																						
下呂市立金山病院	12	12	12																																																																						
藤橋国保診療所 ※	—	1	—																																																																						
久々野診療所 ※	9	—	—																																																																						
郡上市民病院	67	71	70																																																																						
中濃厚生病院	2	—	—																																																																						
久美愛厚生病院	23	—	—																																																																						
合計	735	720	1,089																																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																
11	※ 社会的な要請への協力		<p>・医療に関する鑑定や調査、講師派遣など、社会的な要請に対し随時協力を行った。</p> <p>○大学等への派遣実績 <span style="float:right">単位：人</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜大学への講師(医師・歯科医師)派遣</td> <td>44</td> <td>41</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への講師(医師・歯科医師)派遣</td> <td>176</td> <td>145</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への講師(看護師)派遣</td> <td>25</td> <td>70</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>各種学校への講師(看護師)派遣</td> <td>26</td> <td>9</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>岐阜薬科大学への講師(薬剤師)派遣</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>東京薬科大学への講師(薬剤師)派遣</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>金城学院大学への講師(薬剤師)派遣</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>岐阜医療科学大学への講師(臨床検査技師)派遣</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への専門相談員(臨床心理士)派遣</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>○講師派遣の状況 <span style="float:right">単位：人</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>43</td> <td>50</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>67</td> <td>51</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>13</td> <td>18</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>124</td> <td>121</td> <td>117</td> </tr> </tbody> </table>	項目	H27	H28	H29	岐阜大学への講師(医師・歯科医師)派遣	44	41	40	岐阜県衛生専門学校への講師(医師・歯科医師)派遣	176	145	127	岐阜県衛生専門学校への講師(看護師)派遣	25	70	60	各種学校への講師(看護師)派遣	26	9	13	岐阜薬科大学への講師(薬剤師)派遣	1	0	0	東京薬科大学への講師(薬剤師)派遣	1	0	0	金城学院大学への講師(薬剤師)派遣	1	1	1	岐阜医療科学大学への講師(臨床検査技師)派遣	1	1	1	岐阜県衛生専門学校への専門相談員(臨床心理士)派遣	1	1	1	項目/年度	H27	H28	H29	医師	43	50	55	歯科医師	1	2	1	看護師	67	51	51	コメディカル	13	18	10	合計	124	121	117	III	継続的に取組ができて いるが、平年並みの実績 と評価
項目	H27	H28	H29																																																																		
岐阜大学への講師(医師・歯科医師)派遣	44	41	40																																																																		
岐阜県衛生専門学校への講師(医師・歯科医師)派遣	176	145	127																																																																		
岐阜県衛生専門学校への講師(看護師)派遣	25	70	60																																																																		
各種学校への講師(看護師)派遣	26	9	13																																																																		
岐阜薬科大学への講師(薬剤師)派遣	1	0	0																																																																		
東京薬科大学への講師(薬剤師)派遣	1	0	0																																																																		
金城学院大学への講師(薬剤師)派遣	1	1	1																																																																		
岐阜医療科学大学への講師(臨床検査技師)派遣	1	1	1																																																																		
岐阜県衛生専門学校への専門相談員(臨床心理士)派遣	1	1	1																																																																		
項目/年度	H27	H28	H29																																																																		
医師	43	50	55																																																																		
歯科医師	1	2	1																																																																		
看護師	67	51	51																																																																		
コメディカル	13	18	10																																																																		
合計	124	121	117																																																																		
12	※ 保健医療情報の提供・発信  1 公開講座、医療相談会等の定期的開催		<p>1 公開講座、医療相談会等の定期的開催</p> <p>・運動と健康をテーマとした一般開放イベント「健康祭 2017」を11月に開催、認知症に関する講演を行うとともに、各種測定コーナーを設置、脳トレ体操やゲーム等を実施した。</p>	III	継続的に取組ができて いるが、平年並みの実績 と評価																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
	2 保健医療、健康管理等の情報提供		2 保健医療、健康管理等の情報提供 ・広報誌「けんこう」及び地域医療連携センター部新聞「れんけい」をそれぞれ2回発行した。 ・プレス発表や取材協力等マスメディアを活用した情報発信を行った。 ・「診療のご案内」を改定するとともにホームページを通じて、病院が有する情報を積極的に公表した。		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1-5 災害等発生時における医療救護 <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受け入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは岐阜地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。 岐阜県の基幹災害医療センターとして、県内の災害拠点病院に対し災害医療研修や災害医療訓練(公開)を行うなど指導的役割を發揮すること。</li> <li>※ 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、岐阜県の要請に基づき DMAT を派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。</li> <li>※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立 大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画の作成及び訓練等を実施すること。</li> <li>※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の發揮 新型インフルエンザ等(新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。)発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受け入れ、重症症例の治療等を行うこと。</li> </ul>	災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チーム(以下「DMAT」という。)の派遣など医療救護を行うことを求める。			
----------	---	---	--	--	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
13	※ 医療救護活動の拠点機能の充実 1 医療救護活動の拠点機能の充実 2 基幹災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進		1 医療救護活動の拠点機能の充実 ・診療時間中に岐阜県南西部に震度7の地震が発生し、当院に多数の負傷者が来院または搬送されるという想定で、災害対策本部を立ち上げ、病院機能を通常診療から災害医療体制に切り替える災害対策訓練を実施した。 日 時：平成29年10月21日(土)	Ⅲ	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			参加人員：248 人  2 基幹災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進 ・災害時における医療体制の充実強化のため、岐阜赤十字病院と被害状況及び災害体制についての情報共有訓練を実施した。		
14	※ 他県等の医療救護への協力  1 大規模災害に対応するための DMAT 体制の確保と訓練・研修  2 大規模災害発生時の DMAT の派遣		1 大規模災害に対応するための DMAT 体制の確保と訓練・研修 ・大規模災害への対応を図るため、DMAT（2 班）及び岐阜県地域防災計画に基づく医療救護班を編成し、必要な機能の整備を図った。 ・DMAT 隊員養成研修に 2 人、中部ブロック DMAT 技能維持研修に 2 人参加した。  2 大規模災害発生時の DMAT の派遣 ・大規模災害の発生に備えた訓練を実施したが、実際の派遣要請はなかった。	III	継続的に取組ができているが、 1 大規模災害に対応するための DMAT 体制の確保と訓練・研修 2 大規模災害発生時の DMAT の派遣 2 大規模災害発生時の DMAT の派遣 ・大規模災害の発生に備えた訓練を実施したが、実際の派遣要請はなかった。
15	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立  1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備  2 診療情報のバックアップシステムの構築		1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備 ・被災時において、病院機能の回復を早急に行い、継続的に診療ができるよう診療継続計画の作成を行った。 ・被災時において迅速に災害医療体制に移行できるよう「災害対策マニュアル」により、災害対策訓練を行った。  2 診療情報のバックアップシステムの構築 ・構築したバックアップシステムを適正に管理し、大規模災害時にも診療の継続が可能な環境を維持した。 また、大規模災害のみならず、大規模システム障害にも備え、平成 29 年度からローカル SS-MIX ストレージ（オフライン PC）への診療情報の保存を開始した。	III	継続的に取組ができているが、 1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備 2 診療情報のバックアップシステムの構築
16	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮  1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備		1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 ・診療体制等の整備を検討する「新型インフルエンザ等対策準備検討委員会」を引き続き設置し、新型インフルエンザ等の発生に備えた。	III	継続的に取組ができているが、 1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
	2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施		2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 ・季節性インフルエンザの対応を感染防止研修会でのテーマとするとともに、発生が多かった診療部門と ICT によるカンファレンスを実施した。		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>1-6 医療型障害児入所施設の運営 岐阜県が推進する総合療育の拠点として、医療型障害児入所施設の運営を行う。</p> <p>※ 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の整備 在宅で療養を行うことが困難な重症心身障がい児のうち、人工呼吸器装着など濃厚な医療的ケアを要する児を主な対象とする医療型障害児入所施設を運営すること。 入所児に対し、訪問教育を実施する受入れ体制を整えること。 入所児に対し、デイルーム、図書室兼遊戯室、機能訓練室、言語療養室などの各種施設・設備を活用した療育及び機能訓練プログラム等を行うこと。</p> <p>※ 在宅医療支援体制の充実 レスパイトケア(障がい児を在宅でケアしている家族を癒すため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス)のための短期入所機能を整備すること。 入院障がい児の円滑な在宅移行を支援するため、家族に対する医療的ケア指導等の在宅移行に向けた訓練や、在宅医療・療育の相談などを実施すること。 在宅移行後の容体悪化や救急時に対応するための医療支援を行うこと。</p>				
----------	---	--	--	--	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
17	<p>※ 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の整備</p> <p>1 医療型障害児入所施設の運営</p> <p>2 受入れ重症心身障がい児に対する療育・機能訓練プログラムの実施</p>		<p>1 医療型障害児入所施設の運営 ・平成 28 年 3 月に開所した医療型障害児入所施設「重症心身障がい児施設すこやか」において、長期入所として当該年度に 1 人を受け入れ、入所児に対して医療的ケア、生活支援及び療育を実施、年度末で長期入所児は 7 人となっている。 また、一時的に在宅での介護が困難となった場合や、退院後に在宅で安心して生活できるよう家族がケア方法を習得する教育目的に 4 人を受入れ、全員が目的を達成して在宅へ戻る事ができた。</p> <p>2 受入れ重症心身障がい児に対する療育・機能訓練プログラムの実施</p>	III	継続的に取組ができてい るが、平年並みの実績と評 価

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>入所施設の各種施設・設備を活用し、医師、看護師、リハビリテーション技師、保育士、介護福祉士、管理栄養士等の連携による療育・機能訓練プログラムを実施した。</li> <li>岐阜県立長良特別支援学校の訪問教育では、訪問授業や学校行事等が円滑に実施されるよう、医教連絡会議や月例連絡会議へ参加するなど連携を図り、積極的な支援に取り組んだ。</li> </ul>																				
18	<p>※ 在宅医療支援体制の充実</p> <p>1 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実</p> <p>2 家族に対する在宅医療指導等の実施</p> <p>3 在宅移行後の容体悪化等に対する医療支援</p>	<p>1 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実 ・平成 28 年 7 月から定員 2 人(空床利用型)で短期入所の受入れを開始していたが、利用者からの要望や利用率の高さを勘案し、平成 29 年 11 月に定員を 2 人から 3 人に増員した。県内の在宅で生活する重症心身障がい児・者 80 人と契約し、延べ 712 日のレスパイトケアを実施した。</p> <p>○短期入所施設の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>2 人</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>契約者数</td> <td>76 人</td> <td>80 人</td> </tr> <tr> <td>利用延人員</td> <td>118 人</td> <td>181 人</td> </tr> <tr> <td>利用延日数</td> <td>420 日</td> <td>712 日</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>76.6%</td> <td>80.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※定員 H29. 11:2 人 → 3 人</p>	項目/年度	H28	H29	定員	2 人	3 人	契約者数	76 人	80 人	利用延人員	118 人	181 人	利用延日数	420 日	712 日	利用率	76.6%	80.8%	<p>2 家族に対する在宅医療指導等の実施 ・重症心身障がい児の在宅移行に向けて、家族の障がいの受容や在宅療育に必要な技術等を指導するための教育入所用居室や指導マニュアルの作成等、受入体制を整えた。また、在宅生活を支援する地域の医療機関や福祉サービス事業者等と連携会議を 2 回開催し、在宅移行への課題を解決して円滑な在宅移行を達成することができた。</p> <p>3 在宅移行後の容体悪化等に対する医療支援 ・在宅移行後の容体悪化等に対しては、かかりつけ医療機関への受診及び当センターでの救急医療や入院治療等の体制を整備しており、安心して在宅生活ができるよう医療支援ができた。</p>	IV	短期入所定員の増加によるレスパイトケアの充実に加え、他にも継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	H28	H29																					
定員	2 人	3 人																					
契約者数	76 人	80 人																					
利用延人員	118 人	181 人																					
利用延日数	420 日	712 日																					
利用率	76.6%	80.8%																					

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立 自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。
	※ 効果的な組織体制の確立 医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ITの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。 危機管理事案等発生時における情報共有体制を確立すること。
	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 医療需要の変化に迅速に対応するため、診療科の変更や医師、看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
	※ 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保し、及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底 職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。
	※ 適切な情報管理 業務の情報化に対応して、情報セキュリティ対策に努めること。

項目No.	中期計画の取組項目	H29年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																												
19	※ 効果的な組織体制の確立  1 効率的かつ効果的な組織体制の充実  2 各種業務のIT化の推進  3 アウトソーシング導入による合理化  4 経営効率の高い業務執行体制の確立  5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立		1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 ・平成29年度、新たに医療通訳業務を行う専門職を加え、組織力の強化に努めた。  ○専門職等雇用状況(各年度末時点) 単位:人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未収金整理業務</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>診療報酬請求業務</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>相談業務</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>救急災害対策業務</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>診療情報管理士</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医療通訳業務</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>病棟外来看護事務 ※</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>看護助手 ※</td> <td>78</td> <td>77</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	未収金整理業務	1	1	1	診療報酬請求業務	1	1	1	社会福祉士	1	1	1	相談業務	1	1	1	救急災害対策業務	1	1	1	診療情報管理士	-	1	1	医療通訳業務	-	-	1	医療クラーク	53	54	55	病棟外来看護事務 ※	28	29	22	看護助手 ※	78	77	75	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価
項目/年度	H27	H28	H29																																														
未収金整理業務	1	1	1																																														
診療報酬請求業務	1	1	1																																														
社会福祉士	1	1	1																																														
相談業務	1	1	1																																														
救急災害対策業務	1	1	1																																														
診療情報管理士	-	1	1																																														
医療通訳業務	-	-	1																																														
医療クラーク	53	54	55																																														
病棟外来看護事務 ※	28	29	22																																														
看護助手 ※	78	77	75																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)				自己 評価	自己評価理由
			合計	164	166	159		
			名称変更：看護クランク → 病棟外来看護事務 (H29) ※は補助職					
			2 各種業務の IT 化の推進 ・ASP サービス (Application Service Provider Service : インターネットを通じて顧客にビジネス用アプリケーションをレンタルするサービス) による人事・給与システムの活用や旅費計算ソフトにより、業務の効率化を図った。					
			3 アウトソーシング導入による合理化 ・庁舎管理部門 (設備管理、清掃、防災他)、情報システム関連部門や医業部門 (給食、医事業務、洗濯業務他) の専門的技術を必要とする部門について、アウトソーシングを導入し、業務の合理化を図っている。 ・導入したアウトソーシングについては、必要に応じて委託内容や方法の見直しを実施しており、給食業務について、平成 30 年度からの委託内容の拡大に向けた検討を行った。また、医事業務については、平成 30 年度以降に向けたプロポーザルを実施し、契約期間を 3 年とすることにより経費の節減を図った。					
			4 経営効率の高い業務執行体制の確立 ・経営分析等を行うことで、薬品や診療材料の購入価格や委託業務の複数年契約等の経営改善すべき点の把握に努め、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。 ・非常勤職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる看護師、管理栄養士等を再雇用し、更なる充実を図った。 ・平成 28 年度に改正した非常勤職員の就業規則に関し、契約更新時の基準及び無期労働契約時の労働条件を検討・整備した。また、平成 28 年度に引き続き人事評価を実施した。					
			5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立 ・岐阜県医療事故調査等支援団体連絡協議会に参加し (H30. 1 開催)、医療事故の現状把握と関係機関との情報共有を行っ					

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																
			た。																																		
20	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用  1 弾力的運用の実施  2 効果的な体制による医療の提供  3 3 法人間の人事交流による適正な職員配置		1 弾力的運用の実施 ・平成 29 年度、診療部門に胆嚢内科を設置し、医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した。  2 効果的な体制による医療の提供 ・医療職サポートシステムの強化、充実を図るため各種クラークを採用した。  ○医師・看護師事務作業補助者数 (各年度末時点) 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>病棟外来看護事務</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>81</td> <td>83</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table> ※再掲  3 3 法人間の人事交流による適正な職員配置 ・人事交流により、平成 29 年度は助産師 1 人を受け入れた。  ○他法人職員の受入状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	医療クラーク	53	54	55	病棟外来看護事務	28	29	22	合計	81	83	77	項目/年度	H27	H28	H29	看護師・助産師	0	0	1	コメディカル	0	0	0	合計	0	0	1	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価
項目/年度	H27	H28	H29																																		
医療クラーク	53	54	55																																		
病棟外来看護事務	28	29	22																																		
合計	81	83	77																																		
項目/年度	H27	H28	H29																																		
看護師・助産師	0	0	1																																		
コメディカル	0	0	0																																		
合計	0	0	1																																		
21	※ 事務部門の専門性の向上		・病院運営や医療事務に精通した事務職員を確保するため、プロパー職員を計画的に採用（3 人）した。 ・専門性の向上のため、職務に関連する研修への参加を支援した。  ○事務職員の状況 (各年度末時点) 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>64</td> <td>63</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	プロパー職員	53	54	57	県派遣職員	11	9	8	合計	64	63	65	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価																
項目/年度	H27	H28	H29																																		
プロパー職員	53	54	57																																		
県派遣職員	11	9	8																																		
合計	64	63	65																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
22	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用職員に対して個人情報保護に関する研修を行った。</li> <li>・平成 29 年 10 月、全職員を対象にした個人情報保護に関する研修を実施し、133 人が参加した。</li> <li>・監事監査、内部監査及び監査法人監査の実施により、コンプライアンスを徹底した。</li> </ul>	Ⅲ	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価
23	※ 適切な情報管理		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、「情報セキュリティ通信」を随時発行することにより全職員への啓発を行い、情報セキュリティ意識の向上を図った。</li> <li>また、情報ネットワークのセキュリティ対策、USB メモリ等のデバイス制御、メールのウィルスチェック等のセキュリティ対策の維持・管理を行った。</li> </ul>	Ⅲ	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	<p>2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。</li> <li>※ 収入の確保 地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。</li> <li>※ 費用の削減 薬剤・診療材料の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用などにより費用の節減に努めること。</li> </ul>
------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
24	※ 多様な契約手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数年契約等を導入し、集約化・簡素化による経費の削減を図った。</li> <li>・診療材料について、ベンチマークを活用して新規採用品目の価格を抑えるとともに、既存使用品目も継続して価格交渉を行い、節</li> </ul>		Ⅳ	ベンチマークを活用した価格交渉や品目切替によるコスト削減に加え、その他も継続的な取組が実施

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																						
		<p>減効果を維持した。ベンチマークを活用した価格交渉や品目切替の結果、年間約 3,600 万円のコスト削減ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して各部署における診療材料の定数品目及び数量の見直しを行い、効率的な管理を推進した。</li> <li>・複数メーカーの機種選定を勧め、ベンチマークを利用した交渉による医療機器の購入を行い、当初の予定金額より年間約 1 億 3,900 万円のコスト削減ができた。</li> <li>・医療機器保守については、交渉等による見直しにより 3 件約 557 万円のコスト削減ができた。</li> </ul>			できており、項目全体で特に進捗していると評価。																																																																						
25	<p>※ 収入の確保</p> <p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用</p> <p>2 未収金の発生防止対策等</p> <p>3 総合入院体制加算として退院時の開業医への紹介率等の向上</p> <p>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p>	<p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な病床管理による病床利用率の向上に努めたほか入院診療単価の増額による収益確保に努めた。</li> <li>・地域の医療機関等との連携として、共同指導や病床・設備の開放を行い病診連携を推進した。</li> <li>・登録医からの FAX による MRI、CT、胃カメラ等の検査予約を実施した。</li> </ul> <p>○FAX による検査予約実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FAX 予約</td> <td>1,052</td> <td>816</td> <td>979</td> </tr> </tbody> </table> <p>○収入関係数値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H29/ H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">外 来</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>340,070</td> <td>333,749</td> <td>336,658</td> <td>100.9%</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>1,399</td> <td>1,373</td> <td>1,380</td> <td>100.5%</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>5,449</td> <td>5,826</td> <td>5,818</td> <td>99.9%</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>16,023</td> <td>17,458</td> <td>17,282</td> <td>99.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入 院</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>189,348</td> <td>189,660</td> <td>192,924</td> <td>101.7%</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>517</td> <td>520</td> <td>529</td> <td>101.7%</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>14,759</td> <td>14,802</td> <td>15,338</td> <td>103.6%</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>77,948</td> <td>78,044</td> <td>79,501</td> <td>101.9%</td> </tr> <tr> <td>在院日数</td> <td>日</td> <td>11.7</td> <td>11.9</td> <td>12.0</td> <td>100.8%</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	H27	H28	H29	FAX 予約	1,052	816	979			H27	H28	H29	H29/ H28	外 来	患者数	人	340,070	333,749	336,658	100.9%	平均患者数	人/日	1,399	1,373	1,380	100.5%	診療額	百万円	5,449	5,826	5,818	99.9%	診療単価	円/日	16,023	17,458	17,282	99.0%	入 院	患者数	人	189,348	189,660	192,924	101.7%	平均患者数	人/日	517	520	529	101.7%	診療額	百万円	14,759	14,802	15,338	103.6%	診療単価	円/日	77,948	78,044	79,501	101.9%	在院日数	日	11.7	11.9	12.0	100.8%	<p>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DPC II 群要件となっている診療密度等の各指標について、維持向上やベンチマーク分析を行った。また、診療報酬改定による新規項目で収益増につながるもの(特定集中治療室管理料1、総合入院体制加算2、認知症ケア加算等)については算定を行うよう対応し、体制整備により収益増につながると見込まれるもの(診療録管理体制加算1、看護職員夜間配置加算、入退院支援加算等)については院内で情報を共有し、必要なシミュレーションを行った。</li> </ul>	IV	未収金回収や各種施設基準の対応が確実に実施できたことに加え、その他も継続的に取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目／年度	H27	H28	H29																																																																								
FAX 予約	1,052	816	979																																																																								
		H27	H28	H29	H29/ H28																																																																						
外 来	患者数	人	340,070	333,749	336,658	100.9%																																																																					
	平均患者数	人/日	1,399	1,373	1,380	100.5%																																																																					
	診療額	百万円	5,449	5,826	5,818	99.9%																																																																					
	診療単価	円/日	16,023	17,458	17,282	99.0%																																																																					
入 院	患者数	人	189,348	189,660	192,924	101.7%																																																																					
	平均患者数	人/日	517	520	529	101.7%																																																																					
	診療額	百万円	14,759	14,802	15,338	103.6%																																																																					
	診療単価	円/日	77,948	78,044	79,501	101.9%																																																																					
	在院日数	日	11.7	11.9	12.0	100.8%																																																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																						
		<table border="1" data-bbox="551 252 1173 288"> <tr> <td>病床利用率</td> <td>%</td> <td>87.7</td> <td>87.0</td> <td>87.5</td> <td>100.6%</td> </tr> </table> <p>2 未収金の発生防止対策等          &lt;発生防止&gt;          ・入院説明室で、入院決定時に概算費用の提示や福祉制度の説明など医療相談員への仲介を実施した。また、入院患者には原則として限度額認定証の提示を求めていることを説明し、その手続きを依頼した。          ・医療相談員により、救急搬送患者に対する身元確認、保険確認を早期に行い、医療保険制度の活用を紹介するなど高額な患者負担額とならないよう努めた。          ・出産に伴う入院費について、出産一時金直接払制度を全ての出産について利用していただくよう徹底を図った。制度の利用が困難な事案については、医療相談員の介入を早期に実施し、退院時の支払が出来るよう支援を行った。</p> <p>&lt;回収&gt;          ・毎月2回、定期に督促状を發布し、早期に未収金回収に着手した。          ・督促状発布後、随時催告状を発送するとともに必要に応じ夜間電話催告や臨宅催告を行った。          ・未納者が受診した際には、面談による納付催告を実施した。          ・回収困難な未収金について、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げた。</p> <p>○回収実績（年度末現在）</p> <table border="1" data-bbox="551 1070 1173 1209"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託金額（単位：千円）</td> <td>147,186</td> <td>157,246</td> <td>165,886</td> </tr> <tr> <td>回収金額（単位：千円）</td> <td>59,950</td> <td>66,898</td> <td>75,693</td> </tr> <tr> <td>回収率（単位：%）</td> <td>40.7</td> <td>42.5</td> <td>45.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>○未収金発生状況（翌年度5月末現在）</p>	病床利用率	%	87.7	87.0	87.5	100.6%	項目/年度	H27	H28	H29	委託金額（単位：千円）	147,186	157,246	165,886	回収金額（単位：千円）	59,950	66,898	75,693	回収率（単位：%）	40.7	42.5	45.6			
病床利用率	%	87.7	87.0	87.5	100.6%																						
項目/年度	H27	H28	H29																								
委託金額（単位：千円）	147,186	157,246	165,886																								
回収金額（単位：千円）	59,950	66,898	75,693																								
回収率（単位：%）	40.7	42.5	45.6																								

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年度分</td> <td>522</td> <td>50,184</td> <td>415</td> <td>46,813</td> <td>406</td> <td>50,843</td> </tr> <tr> <td>現年度分</td> <td>319</td> <td>24,854</td> <td>263</td> <td>30,739</td> <td>246</td> <td>19,660</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>841</td> <td>75,038</td> <td>678</td> <td>77,552</td> <td>652</td> <td>70,503</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 各種施設基準への対応及び要件の維持  ・総合入院体制加算（退院時診療情報添付加算算定割合：40%以上）及び地域医療支援病院入院診療加算（紹介率：50%以上、逆紹介率：70%以上）の算定基準（要件）を大幅に超えることができた。</p> <p>○紹介率・逆紹介率等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率（単位：%）</td> <td>64.1</td> <td>72.3</td> <td>75.3</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数（単位：件）</td> <td>16,440</td> <td>15,619</td> <td>15,954</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率（単位：%）</td> <td>84.2</td> <td>94.1</td> <td>99.2</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数（単位：件）</td> <td>20,111</td> <td>20,338</td> <td>21,017</td> </tr> <tr> <td>退院時加算（単位：%）</td> <td>49.9</td> <td>48.5</td> <td>46.8</td> </tr> </tbody> </table>		H27		H28		H29		件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	過年度分	522	50,184	415	46,813	406	50,843	現年度分	319	24,854	263	30,739	246	19,660	合計	841	75,038	678	77,552	652	70,503	項目/年度	H27	H28	H29	紹介率（単位：%）	64.1	72.3	75.3	紹介実施件数（単位：件）	16,440	15,619	15,954	逆紹介率（単位：%）	84.2	94.1	99.2	逆紹介実施件数（単位：件）	20,111	20,338	21,017	退院時加算（単位：%）	49.9	48.5	46.8			
	H27			H28		H29																																																									
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)																																																									
過年度分	522	50,184	415	46,813	406	50,843																																																									
現年度分	319	24,854	263	30,739	246	19,660																																																									
合計	841	75,038	678	77,552	652	70,503																																																									
項目/年度	H27	H28	H29																																																												
紹介率（単位：%）	64.1	72.3	75.3																																																												
紹介実施件数（単位：件）	16,440	15,619	15,954																																																												
逆紹介率（単位：%）	84.2	94.1	99.2																																																												
逆紹介実施件数（単位：件）	20,111	20,338	21,017																																																												
退院時加算（単位：%）	49.9	48.5	46.8																																																												
26	<p>※ 費用の削減</p> <p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底</p> <p>2 後発医薬品の効率的採用</p>	<p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底</p> <p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用等による費用の削減を図った。</p> <p>・コンサルタント活用による情報収集と診療材料のコスト削減に取り組んだ。</p> <p>○医薬収益に対する材料費比率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料比率 ※1</td> <td>30.9</td> <td>31.4</td> <td>29.4</td> </tr> <tr> <td>（内 薬品費） ※2</td> <td>14.7</td> <td>15.6</td> <td>13.2</td> </tr> <tr> <td>（内 診療材料費）</td> <td>15.7</td> <td>15.2</td> <td>15.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 重症心身障がい児施設を除く</p>	項目/年度	H27	H28	H29	材料比率 ※1	30.9	31.4	29.4	（内 薬品費） ※2	14.7	15.6	13.2	（内 診療材料費）	15.7	15.2	15.6	<p>2 後発医薬品の効率的採用</p> <p>・先発医薬品から後発医薬品（ジェネリック医薬品）に、院内コンセンサスを得ながら切替えを促進した。</p> <p>○ジェネリック医薬品使用率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対全医薬品 ※1</td> <td>20.9</td> <td>21.9</td> <td>24.9</td> </tr> <tr> <td>対後発医薬品がある医薬品 ※2</td> <td>80.7</td> <td>85.5</td> <td>84.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：[後発医薬品の数量] / [全医薬品の数量]  ※2：[後発医薬品の数量] / ([後発医薬品のある先発医薬品の数量]+[後発医薬品の数量])</p>	項目/年度	H27	H28	H29	対全医薬品 ※1	20.9	21.9	24.9	対後発医薬品がある医薬品 ※2	80.7	85.5	84.3	IV	材料比率について29.4%と年度計画の目標を達成できたことに加え、その他も継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。																														
項目/年度	H27	H28	H29																																																												
材料比率 ※1	30.9	31.4	29.4																																																												
（内 薬品費） ※2	14.7	15.6	13.2																																																												
（内 診療材料費）	15.7	15.2	15.6																																																												
項目/年度	H27	H28	H29																																																												
対全医薬品 ※1	20.9	21.9	24.9																																																												
対後発医薬品がある医薬品 ※2	80.7	85.5	84.3																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
		※2 H29 から高額医薬品を除く			

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

### 3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期目標	<p>※ 経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、経常収支比率 100%以上を達成すること。</p> <p>※ 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院のうち黒字病院であるものの当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標期間の最終年度までに達成すること。</p>
------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																
27	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率 100%以上及び職員給与費対医業収益比率を 50%以下とすることを目指す。	<p>中期計画上の取組を確実に実施することで、業務運営の改善及び効率化を進めた。その結果、経常収支比率 100.1%、医業収支比率 104.6%、職員給与費対医業収益比率 48.0%と年度計画の目標を達成した。</p> <p>○経常収支比率・医業収支比率・職員給与費対医業収益比率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>99.6</td> <td>98.8</td> <td>100.1</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率 ※</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>104.6</td> </tr> <tr> <td>職員給与費対医業収益比率 (人件費比率) ※</td> <td>48.4</td> <td>48.9</td> <td>48.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※重症心身障がい児施設を除く</p>	項目/年度	H27	H28	H29	経常収支比率	99.6	98.8	100.1	医業収支比率 ※	—	—	104.6	職員給与費対医業収益比率 (人件費比率) ※	48.4	48.9	48.0	<p>病院運営については、3期ぶりに黒字を計上することができたものの、今後、南棟を含めた施設の整備や本館開設時に購入した医療機器の更新に伴う減価償却、老朽化に伴う建物修繕等費用の増加が見込まれるほか、平成31年10月に予定されている消費税引き上げなど、引き続き厳しい状況が続くものと予想される。</p> <p>安定的な病院運営ができるよう、今後とも経営基盤の強化と収益確保のための努力を継続していく必要がある。(●)</p>	IV	経常収支比率 100.1%、医業収支比率 104.6%、職員給与費対医業収益比率 48.0%と年度計画の目標を達成できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	H27	H28	H29																		
経常収支比率	99.6	98.8	100.1																		
医業収支比率 ※	—	—	104.6																		
職員給与費対医業収益比率 (人件費比率) ※	48.4	48.9	48.0																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																								
		<p>○決算（平成 29 年度） 単位：百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">収入</td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>22,964</td> <td>23,132</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>  医業収益</td> <td>21,238</td> <td>21,453</td> <td>215</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金収益</td> <td>1,282</td> <td>1,233</td> <td>▲49</td> </tr> <tr> <td>  重症心身障がい児施設収益</td> <td>114</td> <td>133</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>  その他営業収益</td> <td>330</td> <td>312</td> <td>▲18</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>190</td> <td>184</td> <td>▲6</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金収益</td> <td>134</td> <td>130</td> <td>▲4</td> </tr> <tr> <td>  その他営業外収益</td> <td>57</td> <td>53</td> <td>▲4</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td>892</td> <td>907</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>  長期借入金</td> <td>241</td> <td>241</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金</td> <td>651</td> <td>663</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>  その他資本収入</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>—</td> <td>49</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>24,046</td> <td>24,274</td> <td>228</td> </tr> <tr> <td colspan="4">支出</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>20,090</td> <td>20,774</td> <td>684</td> </tr> <tr> <td>  医業費用</td> <td>19,458</td> <td>20,161</td> <td>703</td> </tr> <tr> <td>    給与費</td> <td>9,640</td> <td>9,889</td> <td>249</td> </tr> <tr> <td>    材料費</td> <td>6,553</td> <td>6,980</td> <td>427</td> </tr> <tr> <td>    経費</td> <td>3,086</td> <td>3,126</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>    研究研修費</td> <td>178</td> <td>164</td> <td>▲14</td> </tr> <tr> <td>  重症心身障がい児施設費用</td> <td>296</td> <td>279</td> <td>▲17</td> </tr> <tr> <td>  一般管理費</td> <td>337</td> <td>334</td> <td>▲3</td> </tr> <tr> <td>    給与費</td> <td>305</td> <td>306</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>    経費</td> <td>32</td> <td>28</td> <td>▲4</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>198</td> <td>192</td> <td>▲6</td> </tr> <tr> <td>資本支出</td> <td>3,171</td> <td>4,730</td> <td>1,559</td> </tr> <tr> <td>  建設改良費</td> <td>2,149</td> <td>1,196</td> <td>▲953</td> </tr> <tr> <td>  償還金</td> <td>982</td> <td>982</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  その他資本支出</td> <td>40</td> <td>2,552</td> <td>2,512</td> </tr> <tr> <td>その他の支出</td> <td>—</td> <td>49</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23,459</td> <td>25,747</td> <td>2,288</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注記 略)</p>	区 分	計画額	決算額	増減	収入				営業収益	22,964	23,132	168	医業収益	21,238	21,453	215	運営費負担金収益	1,282	1,233	▲49	重症心身障がい児施設収益	114	133	19	その他営業収益	330	312	▲18	営業外収益	190	184	▲6	運営費負担金収益	134	130	▲4	その他営業外収益	57	53	▲4	資本収入	892	907	15	長期借入金	241	241	0	運営費負担金	651	663	12	その他資本収入	—	2	2	その他の収入	—	49	49	計	24,046	24,274	228	支出				営業費用	20,090	20,774	684	医業費用	19,458	20,161	703	給与費	9,640	9,889	249	材料費	6,553	6,980	427	経費	3,086	3,126	40	研究研修費	178	164	▲14	重症心身障がい児施設費用	296	279	▲17	一般管理費	337	334	▲3	給与費	305	306	1	経費	32	28	▲4	営業外費用	198	192	▲6	資本支出	3,171	4,730	1,559	建設改良費	2,149	1,196	▲953	償還金	982	982	0	その他資本支出	40	2,552	2,512	その他の支出	—	49	49	計	23,459	25,747	2,288			
区 分	計画額	決算額	増減																																																																																																																																										
収入																																																																																																																																													
営業収益	22,964	23,132	168																																																																																																																																										
医業収益	21,238	21,453	215																																																																																																																																										
運営費負担金収益	1,282	1,233	▲49																																																																																																																																										
重症心身障がい児施設収益	114	133	19																																																																																																																																										
その他営業収益	330	312	▲18																																																																																																																																										
営業外収益	190	184	▲6																																																																																																																																										
運営費負担金収益	134	130	▲4																																																																																																																																										
その他営業外収益	57	53	▲4																																																																																																																																										
資本収入	892	907	15																																																																																																																																										
長期借入金	241	241	0																																																																																																																																										
運営費負担金	651	663	12																																																																																																																																										
その他資本収入	—	2	2																																																																																																																																										
その他の収入	—	49	49																																																																																																																																										
計	24,046	24,274	228																																																																																																																																										
支出																																																																																																																																													
営業費用	20,090	20,774	684																																																																																																																																										
医業費用	19,458	20,161	703																																																																																																																																										
給与費	9,640	9,889	249																																																																																																																																										
材料費	6,553	6,980	427																																																																																																																																										
経費	3,086	3,126	40																																																																																																																																										
研究研修費	178	164	▲14																																																																																																																																										
重症心身障がい児施設費用	296	279	▲17																																																																																																																																										
一般管理費	337	334	▲3																																																																																																																																										
給与費	305	306	1																																																																																																																																										
経費	32	28	▲4																																																																																																																																										
営業外費用	198	192	▲6																																																																																																																																										
資本支出	3,171	4,730	1,559																																																																																																																																										
建設改良費	2,149	1,196	▲953																																																																																																																																										
償還金	982	982	0																																																																																																																																										
その他資本支出	40	2,552	2,512																																																																																																																																										
その他の支出	—	49	49																																																																																																																																										
計	23,459	25,747	2,288																																																																																																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																												
		○収支計画に対する実績 (平成 29 年度) 単位：百万円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益の部</td> <td>23,126</td> <td>23,416</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>22,939</td> <td>23,107</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>    医業収益</td> <td>21,206</td> <td>21,420</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>1,282</td> <td>1,233</td> <td>▲49</td> </tr> <tr> <td>    資産見返負債戻入</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    重症心身障がい児     施設収益</td> <td>113</td> <td>133</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>    その他営業収益</td> <td>321</td> <td>303</td> <td>▲18</td> </tr> <tr> <td>  営業外収益</td> <td>187</td> <td>181</td> <td>▲6</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>134</td> <td>130</td> <td>▲4</td> </tr> <tr> <td>    その他営業外収益</td> <td>53</td> <td>50</td> <td>▲3</td> </tr> <tr> <td>  臨時利益</td> <td>—</td> <td>127</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>費用の部</td> <td>22,786</td> <td>23,312</td> <td>526</td> </tr> <tr> <td>  営業費用</td> <td>21,898</td> <td>22,250</td> <td>352</td> </tr> <tr> <td>    医業費用</td> <td>21,197</td> <td>21,622</td> <td>425</td> </tr> <tr> <td>      給与費</td> <td>9,925</td> <td>9,952</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>      材料費</td> <td>6,075</td> <td>6,494</td> <td>419</td> </tr> <tr> <td>      減価償却費</td> <td>2,111</td> <td>2,065</td> <td>▲46</td> </tr> <tr> <td>      経費</td> <td>2,914</td> <td>2,960</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>      研究研修費</td> <td>172</td> <td>149</td> <td>▲23</td> </tr> <tr> <td>    重症心身障がい児     施設費用</td> <td>340</td> <td>277</td> <td>▲63</td> </tr> <tr> <td>      給与費</td> <td>216</td> <td>216</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>      材料費</td> <td>29</td> <td>12</td> <td>▲17</td> </tr> <tr> <td>      減価償却費</td> <td>50</td> <td>0</td> <td>▲50</td> </tr> <tr> <td>      経費</td> <td>40</td> <td>46</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>      研究研修費</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>▲5</td> </tr> <tr> <td>  一般管理費</td> <td>361</td> <td>350</td> <td>▲11</td> </tr> <tr> <td>    給与費</td> <td>328</td> <td>320</td> <td>▲8</td> </tr> <tr> <td>    減価償却費</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>▲1</td> </tr> <tr> <td>    経費</td> <td>29</td> <td>26</td> <td>▲3</td> </tr> <tr> <td>  営業外費用</td> <td>888</td> <td>1,013</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>  臨時損失</td> <td>—</td> <td>48</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>  予備費</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>純利益</td> <td>340</td> <td>103</td> <td>▲237</td> </tr> <tr> <td>目的積立金取崩額</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	計画額	決算額	増減	収益の部	23,126	23,416	290	営業収益	22,939	23,107	168	医業収益	21,206	21,420	214	運営費負担金収益	1,282	1,233	▲49	資産見返負債戻入	17	17	0	重症心身障がい児 施設収益	113	133	20	その他営業収益	321	303	▲18	営業外収益	187	181	▲6	運営費負担金収益	134	130	▲4	その他営業外収益	53	50	▲3	臨時利益	—	127	127	費用の部	22,786	23,312	526	営業費用	21,898	22,250	352	医業費用	21,197	21,622	425	給与費	9,925	9,952	27	材料費	6,075	6,494	419	減価償却費	2,111	2,065	▲46	経費	2,914	2,960	46	研究研修費	172	149	▲23	重症心身障がい児 施設費用	340	277	▲63	給与費	216	216	0	材料費	29	12	▲17	減価償却費	50	0	▲50	経費	40	46	6	研究研修費	5	0	▲5	一般管理費	361	350	▲11	給与費	328	320	▲8	減価償却費	4	3	▲1	経費	29	26	▲3	営業外費用	888	1,013	125	臨時損失	—	48	48	予備費	—	—	—	純利益	340	103	▲237	目的積立金取崩額	—	—	—			
区 分	計画額	決算額	増減																																																																																																																																														
収益の部	23,126	23,416	290																																																																																																																																														
営業収益	22,939	23,107	168																																																																																																																																														
医業収益	21,206	21,420	214																																																																																																																																														
運営費負担金収益	1,282	1,233	▲49																																																																																																																																														
資産見返負債戻入	17	17	0																																																																																																																																														
重症心身障がい児 施設収益	113	133	20																																																																																																																																														
その他営業収益	321	303	▲18																																																																																																																																														
営業外収益	187	181	▲6																																																																																																																																														
運営費負担金収益	134	130	▲4																																																																																																																																														
その他営業外収益	53	50	▲3																																																																																																																																														
臨時利益	—	127	127																																																																																																																																														
費用の部	22,786	23,312	526																																																																																																																																														
営業費用	21,898	22,250	352																																																																																																																																														
医業費用	21,197	21,622	425																																																																																																																																														
給与費	9,925	9,952	27																																																																																																																																														
材料費	6,075	6,494	419																																																																																																																																														
減価償却費	2,111	2,065	▲46																																																																																																																																														
経費	2,914	2,960	46																																																																																																																																														
研究研修費	172	149	▲23																																																																																																																																														
重症心身障がい児 施設費用	340	277	▲63																																																																																																																																														
給与費	216	216	0																																																																																																																																														
材料費	29	12	▲17																																																																																																																																														
減価償却費	50	0	▲50																																																																																																																																														
経費	40	46	6																																																																																																																																														
研究研修費	5	0	▲5																																																																																																																																														
一般管理費	361	350	▲11																																																																																																																																														
給与費	328	320	▲8																																																																																																																																														
減価償却費	4	3	▲1																																																																																																																																														
経費	29	26	▲3																																																																																																																																														
営業外費用	888	1,013	125																																																																																																																																														
臨時損失	—	48	48																																																																																																																																														
予備費	—	—	—																																																																																																																																														
純利益	340	103	▲237																																																																																																																																														
目的積立金取崩額	—	—	—																																																																																																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																											
		<table border="1"> <tr> <td>総利益</td> <td>340</td> <td>103</td> <td>▲237</td> </tr> </table> (注記 略)	総利益	340	103	▲237																																																																																										
総利益	340	103	▲237																																																																																													
		○資金計画に対する実績 (平成 29 年度) 単位：百万円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>39,820</td> <td>40,341</td> <td>521</td> </tr> <tr> <td>業務活動による収入</td> <td>22,928</td> <td>23,002</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>  診療業務による収入</td> <td>21,352</td> <td>21,505</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金による収入</td> <td>1,416</td> <td>1,364</td> <td>▲52</td> </tr> <tr> <td>  その他の業務活動による収入</td> <td>161</td> <td>132</td> <td>▲29</td> </tr> <tr> <td>投資活動による収入</td> <td>56</td> <td>81</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金による収入</td> <td>56</td> <td>68</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>  その他の投資活動による収入</td> <td>—</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>財務活動による収入</td> <td>836</td> <td>836</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  長期借入による収入</td> <td>241</td> <td>241</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  その他の財務活動による収入</td> <td>595</td> <td>595</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>前事業年度からの繰越金</td> <td>16,000</td> <td>16,421</td> <td>421</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>39,820</td> <td>40,341</td> <td>521</td> </tr> <tr> <td>業務活動による支出</td> <td>20,062</td> <td>20,640</td> <td>578</td> </tr> <tr> <td>  給与費支出</td> <td>10,161</td> <td>10,411</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>  材料費支出</td> <td>6,584</td> <td>7,006</td> <td>422</td> </tr> <tr> <td>  その他の業務活動による支出</td> <td>3,317</td> <td>3,222</td> <td>▲95</td> </tr> <tr> <td>投資活動による支出</td> <td>2,189</td> <td>3,695</td> <td>1,506</td> </tr> <tr> <td>  有形固定資産の取得による支出</td> <td>2,149</td> <td>1,153</td> <td>▲996</td> </tr> <tr> <td>  その他の投資活動による支出</td> <td>40</td> <td>2,541</td> <td>2,501</td> </tr> <tr> <td>財務活動による支出</td> <td>982</td> <td>982</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  長期借入金の返済による支出</td> <td>520</td> <td>519</td> <td>▲1</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	計画額	決算額	増減	資金収入	39,820	40,341	521	業務活動による収入	22,928	23,002	74	診療業務による収入	21,352	21,505	153	運営費負担金による収入	1,416	1,364	▲52	その他の業務活動による収入	161	132	▲29	投資活動による収入	56	81	25	運営費負担金による収入	56	68	12	その他の投資活動による収入	—	12	12	財務活動による収入	836	836	0	長期借入による収入	241	241	0	その他の財務活動による収入	595	595	0	前事業年度からの繰越金	16,000	16,421	421	資金支出	39,820	40,341	521	業務活動による支出	20,062	20,640	578	給与費支出	10,161	10,411	250	材料費支出	6,584	7,006	422	その他の業務活動による支出	3,317	3,222	▲95	投資活動による支出	2,189	3,695	1,506	有形固定資産の取得による支出	2,149	1,153	▲996	その他の投資活動による支出	40	2,541	2,501	財務活動による支出	982	982	0	長期借入金の返済による支出	520	519	▲1		
区 分	計画額	決算額	増減																																																																																													
資金収入	39,820	40,341	521																																																																																													
業務活動による収入	22,928	23,002	74																																																																																													
診療業務による収入	21,352	21,505	153																																																																																													
運営費負担金による収入	1,416	1,364	▲52																																																																																													
その他の業務活動による収入	161	132	▲29																																																																																													
投資活動による収入	56	81	25																																																																																													
運営費負担金による収入	56	68	12																																																																																													
その他の投資活動による収入	—	12	12																																																																																													
財務活動による収入	836	836	0																																																																																													
長期借入による収入	241	241	0																																																																																													
その他の財務活動による収入	595	595	0																																																																																													
前事業年度からの繰越金	16,000	16,421	421																																																																																													
資金支出	39,820	40,341	521																																																																																													
業務活動による支出	20,062	20,640	578																																																																																													
給与費支出	10,161	10,411	250																																																																																													
材料費支出	6,584	7,006	422																																																																																													
その他の業務活動による支出	3,317	3,222	▲95																																																																																													
投資活動による支出	2,189	3,695	1,506																																																																																													
有形固定資産の取得による支出	2,149	1,153	▲996																																																																																													
その他の投資活動による支出	40	2,541	2,501																																																																																													
財務活動による支出	982	982	0																																																																																													
長期借入金の返済による支出	520	519	▲1																																																																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況			その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
		移行前地方債償還 債務の償還による 支出	462	462	0		
		その他の財務活動 による支出	—	—	—		
		翌事業年度への繰越金	16,587	15,023	▲1,564		
		(注記 略)					
		<p>(評価結果の反映)</p> <p>H28 評価結果(経常収支について、2年連続でわずかに 年度計画を下回っており改善に向け努力されたい。) →H29 目標を達成</p>					

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

#### 4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況			その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 短期借入金の限度額					—	
	1 限度額				1 限度額 ・ 10億円		
	2 想定される短期借入金の発生理 由				2 想定される短期借入金の発生理 由 ・ 実績なし		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画		・ 該当なし	—	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画		・ 該当なし	—	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

7 剰余金の使途

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
—	※ 剰余金の使途		・ 該当なし	—	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期目標	<p>8-1 職員の就労環境の向上 職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。</p> <p>さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に生かし、医療従事者を必要数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。</p> <p>8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項 人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。</p> <p>8-3 施設・医療機器の整備に関する事項 病棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案して計画的に実施すること。</p> <p>8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項 法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第 86 条第 1 項に規定する債務の処理を確実にすること。</p>
------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由								
28	<p>※ 職員の就労環境の向上</p> <p>1 職員の就労環境の整備</p> <p>2 職員の健康管理対策の充実</p> <p>3 病児・病後児保育を含めた院内保育施設の整備及び充実</p>	<p>3 病児・病後児保育を含めた院内保育施設の整備及び充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24 年 2 月から 24 時間保育を実施している。</li> <li>・病児・病後児保育の定員について、平成 29 年 4 月から 3 人から 6 人へと変更した。この結果、多くの職員が利用することができた。</li> <li>・平成 30 年 3 月からネット予約システムを導入し、利便性の向上を図った。</li> </ul> <p>○院内保育所の運営状況 (年度末現在)</p> <p>・入所施設 (こばと) 単位: 人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	入所者数	47	47	54	<p>1 職員の就労環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント防止に向けて、院内相談窓口を 2 つから 3 つに増やすとともに、専用アドレスを設置し、相談環境を整えた。</li> <li>・所属ごとに勤務環境改善の取組み結果を集約し、参考例として全所属に周知した。</li> <li>・24 時間体制で警備員を配置し、併せて「院内暴力対応マニュアル」を周知することで、院内暴力に対する取組を強化した。</li> <li>・専門職の雇用を拡充し、病院職員の最適な勤務環境の改善に努めた。</li> <li>・医師住宅の浄化槽保守点検、清掃等適切な管理に努めた。</li> <li>・平成 28 年 4 月から開所した病児・病後児保育施設の運用について、「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」で検討を行い、保育所運営を行う保育所運営協議会に対して運用の見直</li> </ul>	IV	病児・病後児保育定員を増加し、院内保育施設の充実を図ったことに加え、その他も継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	H27	H28	H29										
入所者数	47	47	54										

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																									
		<table border="1" data-bbox="539 252 1144 284"> <tr> <td>保育士数</td> <td>10</td> <td>18</td> <td>22</td> </tr> </table> <p data-bbox="539 323 1048 347">・病児・病後児保育施設 (バンビ) 単位: 人</p> <table border="1" data-bbox="539 352 1048 456"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>94</td> <td>283</td> </tr> <tr> <td>保育士・看護師数</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="539 464 981 488">※H28.4 運営開始、定員 H28:3 人 → H29:6 人</p>	保育士数	10	18	22	項目/年度	H28	H29	延べ利用者数	94	283	保育士・看護師数	3	3	<p data-bbox="1176 252 1776 312">しと改善についての提言を行った。保育所運営協議会で予約方法の見直し等を行い、利便性向上を図った。</p> <ul data-bbox="1176 320 1776 544" style="list-style-type: none"> <li>・衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、縮減するよう啓発に努めた。</li> <li>・看護師のみならず医師やコメディカルについても、変形労働時間制による勤務を採用することにより、時間外勤務時間の縮減に努めている。</li> <li>・医局会や看護師長会を通じ、代休の取得や週休日の振替の徹底を図った。</li> </ul> <p data-bbox="1176 584 1776 608">○代休等取得状況 単位: 件</p> <table border="1" data-bbox="1176 612 1776 740"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代休取得</td> <td>37</td> <td>53</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>週休日振替</td> <td>1,445</td> <td>1,142</td> <td>850</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1176 775 1671 836">2 職員の健康管理対策の充実 ・下記のとおり職員の健康管理対策の充実に努めた。</p> <p data-bbox="1176 876 1776 1134">&lt;健康診断&gt; ・地方独立行政法人化前と同様の一般定期健康診断に加え、非常勤職員に対しては、協会けんぽの生活習慣病予防検診を活用するとともに、人間ドックを希望する常勤職員に対しては、共済組合の助成を受けた人間ドックを実施した。 ・例年実施する放射線取扱業務等に従事する職員に加え、平成29年度は、3年に1回実施する必要がある粉じん業務に従事する職員に対しても健康診断を実施した。</p> <p data-bbox="1176 1174 1776 1366">&lt;任意検査等(各種抗体検査、予防接種等)&gt; ・B型肝炎検査及び小児ウイルス検査を実施した。その結果、抗体が陰性で予防接種を希望する職員に対しては、ワクチンの接種を行った。 ・また、希望する職員に対してはインフルエンザワクチンの接種を実施した。</p>	項目/年度	H27	H28	H29	代休取得	37	53	33	週休日振替	1,445	1,142	850		
保育士数	10	18	22																											
項目/年度	H28	H29																												
延べ利用者数	94	283																												
保育士・看護師数	3	3																												
項目/年度	H27	H28	H29																											
代休取得	37	53	33																											
週休日振替	1,445	1,142	850																											

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																
			<p>&lt;メンタルヘルス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「岐阜県総合医療センターにおける心の健康づくり計画」に則り、全職員向け及び管理者向けのメンタルヘルスに関する研修をそれぞれ実施した。</li> <li>・院内に設置した相談窓口（さわやか健康相談）において、専任の臨床心理士による相談を実施するとともに、外部の相談窓口として、「心の健康相談」事業を黒田クリニック及び県精神保健福祉センターで実施した。</li> <li>・ストレスチェックを実施し、結果を衛生・労働安全委員会に報告するとともに、健康リスクが高いと分析された所属に対しては産業医による聞き取りを実施した。</li> </ul>																																		
29	※ 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県へ2名の退職派遣を行った。</li> </ul> <p>○職員の他法人への出向状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>(2)</td> <td>(1)</td> <td>(2)</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>(2)</td> <td>(1)</td> <td>(2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）は岐阜県への退職派遣者数《外教》</p> <p>○他法人職員の受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※再掲</p>	項目/年度	H27	H28	H29	看護師	(2)	(1)	(2)	コメディカル	0	0	0	合計	(2)	(1)	(2)	項目/年度	H27	H28	H29	看護師・助産師	0	0	1	コメディカル	0	0	0	合計	0	0	1	III	継続的に取組ができてい るが、平年並みの実績と 評価
項目/年度	H27	H28	H29																																		
看護師	(2)	(1)	(2)																																		
コメディカル	0	0	0																																		
合計	(2)	(1)	(2)																																		
項目/年度	H27	H28	H29																																		
看護師・助産師	0	0	1																																		
コメディカル	0	0	0																																		
合計	0	0	1																																		
30	<p>※ 施設・医療機器の整備に関する事項</p> <p>1 医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>2 診療施設等の計画的な整備</p>	<p>2 診療施設等の計画的な整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療需要や費用対効果などを総合的に判断し、中央放射線部や薬剤センターの医療機器を更新した。</li> <li>・質の高い集中治療を行うため、救命救急センターの改修工事を実施した。(S-ICU:0床→8床、救命救急:26床→22床、ICU:4床→0床)</li> <li>・放射線治療装置(リニアック)の更新に伴う南棟の整備について、その基本計画を策定した。</li> </ul>	<p>1 医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器について、計画的な整備を実施した。</li> </ul> <p>○医療機器・施設整備に関する総投資額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>投資額</th> <th>財 源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>1,133 百万円</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table>		投資額	財 源	病院施設、医療機器等整備	1,133 百万円	設立団体からの長期借入金等	IV	救命救急センターの改修工事や南棟整備に係る基本計画の策定など、計画的な整備が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。																										
	投資額	財 源																																			
病院施設、医療機器等整備	1,133 百万円	設立団体からの長期借入金等																																			
31	※ 法人が負担する債務の償還に		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に実施した。</li> </ul>	III	継続的に取組ができてい																																

項目 No.	中期計画の取組項目	H29年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																															
	関する事項		<p>○債務の償還状況（合計） 単位：百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年</td> <td>752</td> <td>752</td> </tr> <tr> <td>28年</td> <td>2,137</td> <td>2,137</td> </tr> <tr> <td>29年</td> <td>982</td> <td>982</td> </tr> <tr> <td>30年</td> <td></td> <td>921</td> </tr> <tr> <td>31年</td> <td></td> <td>1,471</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td></td> <td>6,264</td> </tr> </tbody> </table> <p>*第1期中期計画（H22～H26） 実績10,826千円、計画10,826千円</p> <p>&lt;内訳&gt;</p> <p>○移行前地方債償還債務 単位：百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年</td> <td>449</td> <td>449</td> </tr> <tr> <td>28年</td> <td>459</td> <td>459</td> </tr> <tr> <td>29年</td> <td>462</td> <td>462</td> </tr> <tr> <td>30年</td> <td></td> <td>386</td> </tr> <tr> <td>31年</td> <td></td> <td>993</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td></td> <td>2,750</td> </tr> </tbody> </table> <p>*第1期中期計画（H22～H26） 実績10,826千円、計画10,826千円</p> <p>○長期借入金償還額 単位：百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年</td> <td>303</td> <td>303</td> </tr> <tr> <td>28年</td> <td>1,677</td> <td>1,677</td> </tr> <tr> <td>29年</td> <td>519</td> <td>519</td> </tr> <tr> <td>30年</td> <td></td> <td>535</td> </tr> <tr> <td>31年</td> <td></td> <td>478</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td></td> <td>3,513</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	計画	27年	752	752	28年	2,137	2,137	29年	982	982	30年		921	31年		1,471	中期計画期間計		6,264	年度	実績	計画	27年	449	449	28年	459	459	29年	462	462	30年		386	31年		993	中期計画期間計		2,750	年度	実績	計画	27年	303	303	28年	1,677	1,677	29年	519	519	30年		535	31年		478	中期計画期間計		3,513		るが、平年並みの実績と評価
年度	実績	計画																																																																		
27年	752	752																																																																		
28年	2,137	2,137																																																																		
29年	982	982																																																																		
30年		921																																																																		
31年		1,471																																																																		
中期計画期間計		6,264																																																																		
年度	実績	計画																																																																		
27年	449	449																																																																		
28年	459	459																																																																		
29年	462	462																																																																		
30年		386																																																																		
31年		993																																																																		
中期計画期間計		2,750																																																																		
年度	実績	計画																																																																		
27年	303	303																																																																		
28年	1,677	1,677																																																																		
29年	519	519																																																																		
30年		535																																																																		
31年		478																																																																		
中期計画期間計		3,513																																																																		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

